

(3) 「教育推進プラン・江東」における主な事業の取組・評価と今後の展開

★重点項目事業

柱のⅠ 確かな学力・豊かな人間性・健やかな体の育成

- 重点施策 1 学習内容の充実
- 重点施策 2 思いやりの心の育成
- 重点施策 3 健康・体力の増進
- 重点施策 4 教員の資質・能力の向上

今後の展開

検討年度
部分又はモデル実施年度
継続又は完全実施年度

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プラン No	重点 No
1	少人数学習講師の配置  (確かな学力強化事業)	1 少人数学習講師の配置 「こうとう学びスタンダード」の定着を機軸として、事業内容を整理し、より実効的な取組にしていく。	【取組】 1 少人数学習講師の配置 小学校1・2年生で31人以上の学級がある学校のその学年の全学級に講師を配置した。 【実績等】 ・配置学級数 小学校1年生:76学級(24校) 小学校2年生:63学級(20校)  【評価】 1 少人数学習講師の配置 (1)配置された学校では、児童の実態に合わせたきめ細やかな学習指導ができています。 (2)児童数による配置のため、講師が配置された学校とされない学校とで、指導に差が生じています。 (3)小学校1年生では、小1支援員との役割分担を明確にする必要がある。 (4)講師の配置決定時期が遅く、優秀な講師を確保することができない。	1 学びスタンダード強化講師の配置 少人数学習講師の成果を継承するとともに、課題を改善し、26年度より完全実施となる「こうとう学びスタンダード」の定着を目指した学びスタンダード強化講師制度を開始したため、少人数学習講師の配置は発展的に廃止することになった。今後は学びスタンダード強化講師の更なる充実を図っていく。	学校指導支援課	新1	★1
	23 24 25 26 27						
2	学校司書の配置  (小・中学校管理運営事業)	1 小学校 小学校全校に専任の学校司書の配置を継続し、学校図書館の充実を図っていく。	【取組】 1 学校司書の配置 全小学校44校の学校図書館に週1日6時間、司書または司書資格を持つ専任の学校司書を配置し、蔵書管理や館内ディスプレイのほか、授業支援、読書相談等の業務を行った。 【実績等】 ・授業利用(資料収集等):44校 ・読み聞かせ 38校、選書補助:41校 ・貸出冊数:12.7%増  【評価】 1 学校司書の配置 貸出冊数が増加するなど、児童の読書への関心は高まっていると言える。また、学校図書館の授業利用や授業への資料提供が活発に行われている。	1 小学校 26年度から26学級以上の大規模校3校については学校司書の配置を週2日とする。 今後も教育課程との関連を持たせるなど、児童の学力向上に資するよう、業務の充実を図っていく。 2 中学校 小学校における事業効果を検証しつつ、中学校における小学校から継続した読書活動支援・学習活動支援といった活用方法を踏まえ、効果的な配置を検討する。	学指導課	新2	★1
	23 24 25 26 27						
3	教員の資質向上  (幼小中連携教育事業)	1 連携教育の推進 「江東区連携教育の日」を中心に連携教育を推進していく。特に保幼小においては、江東区保幼小連携教育プログラムの効果的な活用と内容の見直しを図り、各校区における成果を検証する。	【取組】 1 連携教育の推進 各中学校校区において「江東区連携教育の日」を実施し、保育園を含めた、保幼小中連携の取組を明確に周知することができた。 【実績等】 ・「江東区連携教育の日」の実施:年2回  【評価】 1 連携教育の推進 各中学校校区の取組についての成果と課題をリーフレットにまとめ、校長会等で周知した。連携教育についての教員の資質向上において更なる改善が必要である。	1 連携教育の推進 「江東区連携教育の日」を中心に連携教育を推進していく。特に保幼小においては、江東区保幼小連携教育プログラムの効果的な活用と内容の見直しを図る。各校区における成果についてリーフレットを作成し、周知する。	学校指導支援課	10	★5
	23 24 25 26 27						

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プラン No	重点 No
4	学力強化講師の配置・学習塾との連携  (確かな学力強化事業)	1 学力強化講師の配置 成果の検証を行うとともに、「こうとう学びスタンダード」の確実な定着に向けた、よりよい講師派遣についても検討していく。 2 学習塾連携事業 区としての事業を見直し、希望する学校が特色ある学校づくり支援事業の中に位置付けて実施していく。	【取組】 1 学力強化講師の配置 (1)学力強化講師を小学校全校の4年生の算数の時間及び中学校全校の1年生の1教科に配置した。 (2)中学校については他学年でも希望がある場合、実態に応じ追加配置を行った。 【実績等】 ・配置学級数 小学校 106学級 中学校 164学級 2 学習塾の講師の活用 区としての事業は廃止し、希望する学校が各学校の特色ある学校づくり支援事業の一環として取り組んでいくこととなった。  【評価】 1 学力強化講師の派遣 (1)配置された学年、学級では習熟度別指導を中心とした指導の充実が図れている。 (2)配置する学年や教科が限定されており、更なる学力向上を目指すためには見直しが必要である。 2 学習塾の講師の活用 特色ある教育として連携が確立している学校が独自に実施している。	1 学びスタンダード教科講師の配置 学力強化講師の成果を継承するとともに、課題を改善し、26年度より完全実施となる「こうとう学びスタンダード」の定着を目指した学びスタンダード強化講師制度を開始したため、学力強化講師の配置は発展的に廃止することになった。今後は学びスタンダード強化講師の更なる充実を図っていく。 2 学習塾の講師の活用 今後も活用を希望する学校が、特色ある学校づくり支援事業の一環として取り組んでいく。	学校指導支援室課	11	★1
	23 24 25 26 27 ※学力強化講師は25年度で廃止						
5	習熟度別授業等の推進(加配教員、講師等の派遣)  (確かな学力強化事業)	1 加配教員の派遣 学校視察を通じて習熟度別少人数授業の成果を検証し、加配教員の配置基準や優先順位校を明確にしていく。	【取組】 1 加配教育の派遣 指導方法改善のための都の加配教員について、6月～7月にかけて学校を訪問する等して、活用状況の確認を行った。  【評価】 1 加配教員の派遣 成果の上がっている学校が多い。区研究協力校の発表等を通じて、成果の共有化を図った。	1 加配教員の派遣 学校視察を通じて習熟度別少人数授業の成果を検証し、加配教員の配置基準や優先順位校を明確にしていく。 27年度以降、都の動向を注視する。	学校指導支援室課	12	★1
	23 24 25 26 27						
6	小学校への理科支援員の配置  (理科支援員配置事業)	1 理科支援員の配置 理科教育の充実を目指し、配置時数及び配置学年の拡大を図る。また、学校支援課の理科教育担当相談員が、学校を巡回し理科支援員の活用方法を指導するなど、事業の充実に努めていく。 2 国の補助金の活用 理科観察実験支援事業補助金を活用し、事業の充実に努める。	【取組】 1 理科支援員の配置 (1)小学校5・6年生の理科の学習の充実を目指し、区独自の支援員を配置した。 (2)学校支援課の理科教育担当相談員が巡回訪問し、指導助言にあたり、効果的な実施に努めた。 2 国の補助金の活用 (1)25年度途中に募集された国の補助を活用し、歳入の確保を行った。 【実績等】 ・小学校41校 3,449時間配置  【評価】 1 理科支援員の配置 (1)指導方法や実験・観察の準備、片付け等、理科の授業に関する成果は確実に上がっている。 (2)小学校3・4年生への配置拡大及び配置時数の増加が課題である。	1 理科支援員配置事業の更なる充実 理科支援員の有効活用をさらに推進し、よりよい人材の確保に努めていく。 2 国の補助金の活用 小学校3・4年生を対象を広げ、更なる事業の充実に努める。	学校指導支援室課	13	★1
	23 24 25 26 27						
7	チーム江東・体力向上プロジェクト  (こども体力向上事業)	1 体力向上への取組 (1)25年度以降も「こうとうこどもスポーツデー」において、オール小学校・長縄跳び大会を実施していく。 (2)更に地域・保護者も巻き込んだ体力向上の取組について検討していく。 (3)中学生の参加についても検討する。	【取組】 1 体力向上への取組 スポーツ振興課と連携した「こうとうこどもスポーツデー」でオール小学校・長縄跳び大会を実施した。 【実績等】 ・参加者数:約5,000人  【評価】 1 体力向上への取組 オール小学校・長縄跳び大会に全小学校が参加した。年3回の「ながチャレウィーク」を通じて、関心が高まってきており、参加者は年々増加し、記録も向上している。	1 体力向上への取組 (1)25年度以降も「こうとうこどもスポーツデー」において、オール小学校・長縄跳び大会を実施していく。 (2)地域・保護者と連携し、「体力スタンダード」等、体力向上の取組について周知する。 (3)中学生の参加についても検討する。	指導室	新6	★2
	23 24 25 26 27						

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プラン No	重点 No
8	外部指導員の配置、拠点校方式の部活動の推進  (部活動振興事業)  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">23 24 25 26 27</div>	<b>1 外部指導員の配置</b> 外部指導員の継続的な配置による競技力向上や休・廃部防止に努めるとともに外部指導員による指導が適切に行われるようにしていく。  <b>2 拠点校方式の部活動の充実</b> 2020年東京オリンピックも視野に入れ、指導体制及び練習の充実を図るとともに、取組を全国に発信していく。  <b>3 中学生「東京駅伝」大会への取組</b> 中学校長会と連携し、組織的に取り組み、練習の更なる充実及び予算面の支援を行い、区の記録更新と男女別及び区として10位入賞を目指していく。	<b>【取組】</b> <b>1 外部指導員の配置</b> 休廃部の防止や、学校の実情に応じた部活動支援、文化部振興のため全中学校及び申請のあった小学校(主に金管バンド部)に外部指導員派遣に関わる謝礼金の配当を行っている。 <b>【実績等】</b> ・中学校: 23校 93部活動 ・小学校: 6校 6部活動  <b>2 拠点校方式の部活動の設置</b> 江東区の特徴を生かした部活動を拠点校方式により設置し、活動の推進及び選手の育成等に取り組んでいる。ウォールクライミング部は総合的に検討した結果、廃止することとした。 <b>【実績等】</b> ・設置している拠点校方式の部活動 20年度:セーリング部(豊洲北小) 21年度:ウォールクライミング部(臨海小) カヌー部(大島中) 女子サッカー部(四砂中) 23年度:俳句部(深川七中) ・セーリング部、カヌー部の部員及び卒業生が東京国体に出場した。セーリングでは少年女子セーリングスピリッツ級で3位入賞を果たした。  <b>3 中学生「東京駅伝」大会への取組</b> 大会に向けての合同練習の充実を図るとともに区民駅伝にも参加した。またユニフォームも作成した。 <b>【実績等】</b> ・降雪のため、大会は中止。  <b>【評価】</b> <b>1 外部指導員の派遣</b> 外部指導員の配置による競技力の強化、休・廃部の防止につながった。また、体罰防止等を鑑み、外部指導員には誓約書の提出を依頼した。  <b>2 拠点校方式の部活動の設置</b> (1)これまでの取組が国体出場という大きな成果につながった。 (2)女子サッカーでは関係団体や他地域との連携を推進することができた。 (3)拠点校方式の部活動については、方針を含めて明確化し、更なる充実を図っていく必要がある。	<b>1 外部指導員の配置の充実</b> 生徒の体力向上及び部活動振興を更に進めていくためにも、配置に関わる謝礼金の予算拡大を図っていく。また、選手育成及び体罰や事故の防止のために外部指導員や顧問教員を対象とした研修も実施していく。  <b>2 拠点校方式の部活動の更なる推進</b> 部活動の実績の向上とともに、部員が増加し、練習の質や量の充実を図っていく必要がある。 また、カヌーやセーリングは中学校を卒業した後の受け皿がなく、区としてオリンピックを目指した展開が図れていない。今後はスポーツ推進計画等に区としての取組を位置付け、将来的にも競技に取り組んでいける体制を構築する。  <b>3 中学生「東京駅伝」大会への取組</b> 中学生の体力向上の一環であることから、区内の全中学生の持久力の向上とリンクさせ、全中学校のからベストの選手を集めて参加し、上位入賞を目指していく。	学校支援課	23	★2
9	ながなわチャレンジの実施・体力向上推進モデル校の指定、スポーツ教育推進校  (こども体力向上事業)  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">23 24 25 26 27</div>	<b>1 ながなわチャレンジの実施</b> 「KOTO☆キッズながなわチャレンジ」は今後も継続して取り組んでいく。  <b>2 体カスタンダードの取組</b> 「体カスタンダード」の内容を各校で取り組み、研究課題校を指定する等し、広く体力向上に生かしていく。	<b>【取組】</b> <b>1 ながなわチャレンジの実施</b> 全小学校での実施が定着し、記録も伸びている。  <b>2 スポーツ教育推進校の指定</b> 小中学校からスポーツ教育推進校を指定し、こどもの体力向上活動を研究し、実践している。 <b>【実績等】</b> ・幼稚園1園、小学校15校、中学校3校が指定を受け、取組を進めた。  <b>【評価】</b> <b>1 ながなわチャレンジの実施</b> 体力テストの結果を基にした更なる効果的な取組と中学校での「ながなわチャレンジ」の導入を検討する。	<b>1 ながなわチャレンジの実施</b> 「KOTO☆キッズながなわチャレンジ」は今後も継続して取り組んでいく。  <b>2 体カスタンダードの取組</b> 「体カスタンダード」の内容を各校で取り組み、研究課題校を指定する等し、その成果を検証し、広く体力向上に生かしていく。	指導室	24	★2

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プラン No	重点 No
10	食育の推進  (栄養教諭を活用した食育の推進)	1 児童生徒への食生活アンケートの実施 22年度作成した「食育リーフレット」作成の際に行った、児童生徒対象の食生活アンケートから3年経過したため、現状の把握を目的としてアンケートを行う。  2 食育推進への取組 中学校に江東区2人目の栄養教諭が配置されたことから、小中学校全校で、食育推進への取組を進めていく。	<b>【取組】</b> 1 食育推進への取組 (1)親子料理教室、食育展など区民参加の事業を行った。食育展も5回目となり、25年度は、「全国学校給食週間」に合わせて開催した。 学校では、江東区伝統野菜の栽培など農作物の生産体験にも積極的に取り組んでいる。また、22年度に作成した「食育リーフレット」を活用した授業も行われた。 (2)「江東区食育推進計画」の改定に併せて、22年度作成した「食育リーフレット」の一部を見直すこととした。まず、児童生徒の食生活の現状を把握するため、アンケートを実施した。 <b>【評価】</b> 1 食育推進への取組 (1)各学校では食育への関心が高まっている。親子料理教室や食育展も年々盛況となっており、こどもたちの食べ物に関する興味が増ってきていることがわかる。 (2)アンケートを行うことで、児童生徒の現状を把握することができ、食育推進の参考とすることができる。	1 食育推進への取組 東京都から食育推進地区の指定地区の指定を受けた22年度から学校と連携して食育推進に取り組んでおり、各学校では、食育推進チーム、食育リーダーを設置し、授業・給食献立、また、企業等を活用した食育にも取り組んでいる。 今後は、各学校の情報の共有を図り、多様な食育に取り組みたい。	学務課	25	★2
	23 24 25 26 27						
11	幼保小教職員交流事業  (健全育成事業)	1 「江東区幼小連携教育プログラム」の見直し 「幼児合同研修会」「幼児の道徳性育成研修会」を通じて、「江東区幼小連携教育プログラム」の内容を見直していく。	<b>【取組】</b> 1 保幼小教職員の交流 「幼児合同研修会」では保幼の教員、「幼児の道徳性育成研修会」では保幼小の教員と保護者が参加し、意見交換を行った。  <b>【評価】</b> 1 保幼小教職員の交流 相互理解及び連携の促進にも効果があり、保育園と幼稚園の保育交流が見られるようになった。	1 「江東区幼小連携教育プログラム」の改訂 連携教育検討委員会を発足させ、「江東区幼小連携教育プログラム」の内容を見直していく。	学校 指導室 支援課	新7	★5
	23 24 25 26 27						
12	教員研修事業の充実  (研究協力校運営事業)	1 教員研修の充実 校務用PCの有効活用を含め、ICT研修会の内容の充実を図る。	<b>【取組】</b> 1 教員研修の充実 (1)ICT研修の充実に努めた。 (2)また校務用PCの有効活用の周知に向けて所管課と連携を図り、検討を進めた。 <b>【実績等】</b> ・ICT研修:7講座 449名参加  <b>【評価】</b> 1 教員研修の充実 (1)校種に分かれた体育実技研修会を実施し、より実践的な内容で行うことができた。 (2)新たに体育主任連絡会を設置し、体力テストの趣旨や実施方法の理解を深めた。 (3)教員のICTに関わる資質能力の向上と、校務用LANの有効活用、eラーニングの効果的な実施方法の開発が課題である。	1 教員研修の充実 校務用PCの有効活用を含め、ICT研修会の内容の充実を図る。	指導室	新8	★4
	23 24 25 26 27						
13	教員相談窓口の設置  (教職員研修事業)	1 教員研修の充実 窓口の通年受付と相談対象者を若手教員(1~6年目)とするなど、より教員のニーズに対応できるようにしていく。	<b>【取組】</b> 1 教員研修の充実 学校訪問の際、授業観察を中心とした指導助言と授業以外の悩みや課題についての相談に応じた。  <b>【実績等】</b> ・支援訪問は440回。要請訪問は35回。  <b>【評価】</b> 1 教員研修の充実 若手教員が自らの課題や悩みについて、じっくりと相談することができ、有意義であったと回答している。	1 支援訪問と研修の充実 教育センターの相談員(元校長)による支援訪問と若手養成研修会において、若手教員(1~6年目)の悩みや課題の解決に努めた。	指導室	新9	★4
	23 24 25 26 27						

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プラン No	重点 No
14	研究協力校の拡充  (教職員研修事業)	<b>1 研究活動の活性化</b> 教育課題研究校として取り組む内容を明確にし、その取組と成果を研究主任研修会を通じて効果的に広げていく。  <b>2 公開研究授業の実践</b> 区研究協力校等以外の希望する小中学校を、公開研究授業実践校として指定する。授業を全小中学校に公開し、全小中学校の授業を活性化及び優れた授業実践を公開することで、全教員の授業力向上を図る。	<b>【取組】</b> <b>1 研究活動の活性化</b> 研究協力校の他に、単年度の研究指定校である「教育課題研究校」を指定し、研究活動の活性化を図った。 <b>【実績等】</b> ・研究協力校:9校 (幼:幼児教育全領域、小:国語科、社会科、理科、生活科、体育科、総合等、中:全教科・領域等) ・教育課題研究校:10校指定 (教育課題:OJTの推進、特別支援教育の推進、幼保小中連携教育の充実、体力向上、こうとう学びスタンダードの推進、土曜日の活用推進) ・公開授業研究実践校 13校17名が公開  <b>【評価】</b> <b>1 研究活動の活性化</b> 教育課題研究校を指定することにより、校園の研究意識を高めることができた。  <b>2 研究内容の充実</b> 今後は更に研究指定校の内容充実に努め、更に教師の指導力の向上と児童生徒の学力向上につなげていくことが課題である。	<b>1 研究活動の活性化</b> 教育課題研究校として取り組む内容を明確にし、その取組と成果を研究主任研修会を通じて効果的に広げていく。  <b>2 公開研究授業の実践</b> 区研究協力校等以外の希望する小中学校を、公開研究授業実践校として指定する。授業を全小中学校に公開し、全小中学校の授業を活性化及び優れた授業実践を公開することで、全教員の授業力向上を図る。	指導室	27	★4
	23 24 25 26 27						
15	授業力向上アドバイザー  (教職員研修事業)	<b>1 こうとう学びスタンダードの策定</b> 引き続き、授業力向上アドバイザーを「こうとう学びスタンダード」作業部員とし、国語、数学、英語の各スタンダードの策定にあたる。	<b>【取組】</b> <b>1 こうとう学びスタンダードの策定</b> 授業力向上アドバイザーを「こうとう学びスタンダード」作業部員とし、国語、数学、英語の各スタンダードの策定にあたった。  <b>2 授業力向上アドバイザーの認定</b> 公開授業研究実践校の授業者を授業力向上アドバイザーとして認定した。(17名)  <b>【評価】</b> <b>1 こうとう学びスタンダードの策定</b> (1)1月には「こうとう学びフォーラム」を実施し、「こうとう学びスタンダード」の内容について周知を図った。 (2)2～3月にかけて各指導資料を作成し、4月以降、冊子として全教員に配布し、活用した。  <b>2 公開授業研究実践校</b> 他校からのべ69名の参加者があり、協議会に参加し、指導力向上を図った。	<b>1 公開授業研究実践校の取組</b> 区研究協力校等以外の希望する小中学校を、公開研究授業実践校として指定する。授業を全小中学校に公開し、全小中学校の授業を活性化及び優れた授業実践者を授業力向上アドバイザーに認定する。	指導室	30	★4
	23 24 25 26 27						

柱のⅡ 安心して通える楽しい学校(園)づくりの推進

重点施策5 個に応じた教育支援の推進

重点施策6 いじめ・不登校対策の充実

重点施策7 教育施設の整備・充実

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プラン No	重点 No
16	学習支援員の配置  (学習支援事業)	1 学習支援員の配置 (1)各校にて支援の必要な児童・生徒が増加しているため、状況に応じて必要な配置を行っていく。 (2)学習支援員連絡会を実施し支援員の資質能力の向上に努めていく。 (3)校園長会や特別支援教育コーディネーター研修等で各校の情報交換や校内体制充実のための情報提供を行う。	<b>【取組】</b> 1 学習支援員の配置 通常の学級に在籍する発達障害等のこどもを対象に学習面や生活面の支援を行うために、全小学校及び支援を必要とする中学校に支援員を配置した。 <b>【実績等】</b> ・配置校:小学校44校、中学校15校 ・対象児童、生徒の状況に応じ、小学校17校、中学校3校に支援員を追加配置した。 ・学習支援員連絡会(指導室主催) 年3回 <b>【評価】</b> 1 学習支援員の配置 (1)支援員の配置により担任が授業に専念できる環境が整い、全体の学習がスムーズに進んでいるほか個に応じたきめ細やかな指導が可能となった。 (2)個別指導計画に基づいた組織的な対応が図れるよう、更に校内体制を充実させていく必要がある。	1 学習支援員の配置 (1)各校にて支援の必要な児童・生徒が増加しているため、状況に応じて今後も必要な配置を行っていく。また、学校により児童数に差があるため、大規模校への複数配置等配置基準についても検討を行う。 (2)学習支援員連絡会の更なる充実を図る。 (3)特別支援教育全体の推進策の1つとして、校内体制の更なる充実を図っていく。	学校指導室課	37	★1
	23 24 25 26 27						
17	小1支援員の配置、幼小中連携教育検討委員会の運営  (幼小中連携教育事業)	1 小1支援員の配置 (1)25年度は、試行的に各学校の計画に基づき、小1支援員の配置期間の変更ができるようにした。 (2)試行する配置期間の変更にもなう評価を踏まえ、次年度以降の配置方法を検討していく。 2 連携教育検討委員会の運営 「江東区連携教育の日」や「江東区保幼小連携教育プログラム」の実践報告をもとに幼小中連携教育検討委員会で効果検証を行っていく。	<b>【取組】</b> 1 小1支援員の配置 小1の入学当初の生活支援及び「学び方スタンダード」の定着に向けた支援を行うために、小学校1年生の全学級に小1支援員を配置した。 <b>【実績等】</b> ・配置期間:4月から7月(申請により9月第1週まで) ・配置学級数:129学級 2 「江東区保幼小連携教育プログラム」の活用 「江東区連携教育の日」を中心に連携教育を推進するとともに、区内の保育園・幼稚園・小学校において「江東区保幼小連携教育プログラム」の活用を推進した。 <b>【評価】</b> 1 小1支援員の配置 本区では、小1プロブレムによる深刻な状況は全く報告されておらず、小1支援員の配置が大きな役割を果たしている。 2 「江東区保幼小連携教育プログラム」の策定 (1)保幼小の連携教育の指針ができたことで、連携教育の推進を図ることができている。 (2)2年間の実践について評価することと、プログラムの改訂が必要である。	1 小1支援員の配置 小1支援員の派遣効果は絶大であり、事業の継続は不可欠である。2年間試行的に行ってきた配置期間の延長の成果と課題を整理するとともに、学びスタンダード強化講師の配置による影響も考察し、今後の事業の充実には生かしていく。 2 連携教育検討委員会の開催 2年間の「保幼小連携教育プログラム」への取組及び「江東区連携教育の日」を含めた連携教育の実践の評価を行い、「保幼小連携教育プログラム」の改訂に取り組んでいく。	学校支援課	38	★1
	23 24 25 26 27						
18	不登校の児童生徒の体験活動事業  (不登校対策事業)	1 体験活動を通じた学校復帰支援 (1)遠足を年3回、様々な校外学習を年2回実施する。 (2)25年度より、カヌー体験を実施する。	<b>【取組】</b> 1 体験活動を通じた学校復帰支援 適応指導教室の課外活動として、自然体験やカヌー・ヨット等を利用した体験学習を通して学校復帰へのきっかけづくりを推進する。 <b>【実績等】</b> ・遠足(葛西臨海公園・上野動物園) ・校外学習(深川江戸資料館・地下鉄博物館・そなエリア・深川七福神めぐり) ・のべ42名参加 <b>【評価】</b> 1 体験活動を通じた学校復帰支援 (1)普段の教室とは異なる笑顔を見ることができた。集団行動の大切さを学んだ。 (2)他課との連携と調整が必要である。	1 体験活動を通じた学校復帰支援 (1)遠足を年2回、様々な校外学習を年5回実施する。 (2)カヌー体験を実施する。 (3)ふれあいタイム、学習発表会を実施する。 (4)読書月間、なわとび月間を実施する。	学校支援センター 指導室	新12	★3
	23 24 25 26 27						

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プラン No	重点 No
19	児童館不登校児童生徒 対応事業  (児童館管理運営事業)	1 児童館を利用した不登校児童生徒の居場所づくり 児童館の取組として、その成果を検証しながら、有効な居場所づくりのあり方を試行・検討していく。	<b>【取組】</b> 1 児童館を利用した不登校児童生徒の居場所づくり (1)各課と連携を図り、「ふれあいタイム」の一環として児童館訪問を実施し、スポーツや創作活動に取り組んだ。 (2)事業周知のチラシを配布した。 <b>【実績等】</b> ・児童館訪問(南砂・東陽):計8回実施 参加者47名  <b>【評価】</b> 1 児童館を利用した不登校児童生徒の居場所づくり 集団活動、地域の活動の場として、児童館の有効活用が図られている。	1 児童館を利用した不登校児童生徒の居場所づくり 関係所管と緊密な連携を図り、事業実施児童館数の拡大を含めて、有効な居場所づくりを推進していく。	教放 育課 後支 援課 指導室	新13	★3
	23 24 25 26 27						
20	いじめ・不登校問題の早期発見  (適応指導教室事業)	1 いじめ・不登校問題への対応 年3回の区独自調査、問題行動調査、ふれあい月間の取組結果等を基に、いじめや不登校の要因を把握し、その対応策について検討する。  2 「江東区いじめ防止基本方針」(仮)の策定 「いじめ防止対策推進法」の成立を受け、都の動向を見据えながら、区としての「江東区いじめ防止基本方針」(仮)を策定していく。	<b>【取組】</b> 1 適応指導教室の周知 スクーリングサポートセンター職員が校長会に参加し、事業内容や入級に関する情報提供を積極的に行った。  2 早期発見・早期対応に向けた取組 生活指導主任連絡会で早期発見・早期対応の重要性について理解を深めた。  3 道徳授業の実施 いじめについて、ふれあい月間中に、道徳の授業を全校で実施した。  <b>【評価】</b> 1 いじめ・不登校問題への対応 長期期間中には学校訪問を実施する等、学校、保護者との連携を深めた。	1 いじめ・不登校問題への対応 年3回の区独自調査、問題行動調査、ふれあい月間の取組結果等を基に、いじめや不登校の要因を把握し、その対応策について検討する。  2 「健全育成総合対策」(仮)の策定 「いじめ防止対策推進法」の成立を受け、都の動向を見据えながら、区としてのいじめ防止に関する総合対策を策定していく。	指導室	41	★3
	23 24 25 26 27						
21	適応指導教室(ブリッジスクール)の設置・運営  (適応指導教室事業)	1 学校復帰支援の充実 (1)週2回1時間の学習指導を基本とするが、週3~5回の学習指導にも柔軟に対応する。 (2)申込制による通年または長期休業期間中の自習・補習教室を実施する。 (3)保護者会や個人面談、参観週間、進学説明会の内容充実を図る。 (4)南部地区の開設については、武蔵野大学等との連携を検討する。 (5)低学年の不登校児童が増えていることに対応できるように検討する。  2 学校復帰に向けた取組 児童館での活動や遠足等を実施し、通級児童生徒の活動の幅を広げている。	<b>【取組】</b> 1 学校復帰支援の充実 (1)南部地区への増設の検討を含めて内容を充実させ、児童生徒の学校復帰を支援する。 (2)「ふれあい活動」で、遠足や校外学習、学習発表会等、集団での活動を実施し、他者との関わりを持てるようにした。 <b>【実績等】</b> ・入級条件を小学校3年からに拡大。47名が入級、内6名が学校復帰、2名が退級 ・年3回保護者会を実施。112名の児童生徒と保護者が参加 ・11月には進路説明会・相談会を実施。中3の生徒、保護者6名が参加  2 学校復帰に向けた取組 引き続き、児童や生徒の状況に合わせて、通級回数を増やすなど、個に応じた対応を図った。 <b>【実績等】</b> ・8名の生徒の進学が決定  <b>【評価】</b> 1 学校復帰支援の充実 (1)児童生徒の実態に応じて通級回数を増やせたことで様々なケースに柔軟に対応することができた。 (2)集団活動を取り入れられたことは、児童生徒にとって有効であった。  2 学校復帰に向けた取組 個々のケースが複雑化しており、学校復帰や問題解決に時間を要する。	1 学校復帰支援の充実 (1)週2回1時間の学習指導を基本とするが、週3~5回の学習指導にも柔軟に対応する。 (2)申込制による通年または長期休業期間中の自習・補習教室を実施する。 (3)保護者会や個人面談、参観週間、進学説明会の内容充実を図る。 (4)南部地区の開設については、武蔵野大学等との連携を検討する。  2 学校復帰に向けた取組 児童館での活動や遠足等を実施し、通級児童生徒の活動の幅を広げていく。	指導室	44	★3
	23 24 25 26 27						

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プラン No	重点 No
22	幼稚園庭芝生化等事業 (園舎改修事業)	1 面積の検討 園庭の面積に対して、芝生の面積をいくつにするか慎重に考慮する必要がある。 2 場所の検討 芝生を張る場所についても養生期間等を含め、設計の段階から園と連携を取り計画していく。	【取組】 1 幼稚園庭の芝生化 大規模改修事業に伴い、1園の芝生化を行った。 【実績等】 ・25年度 第五砂町幼稚園 59㎡ 【評価】 1 幼稚園庭の芝生化 (1)園児にとって芝生とのふれあいは教育の一環として活用される。 (2)芝生の場所によっては園児・職員の動線となっているため踏圧による劣化が激しい状態である。	1 芝生場所・面積 園庭芝生化は、園児が裸足で遊べる貴重な空間となる反面、養生期間中はその場所が制限されるなどのマイナス面も生じる。 設置場所や面積についても慎重に検討していく。	学校施設課	新14	★5
	23 24 25 26 27						
23	特別支援学級の整備 (幼稚園・小学校・中学校特別支援教育事業)	1 特別支援学級の適切な設置 (1)25年度は26年度に開設予定の情緒障害等通級指導学級(第二亀戸小学校)の設置準備を行う。 (2)今後の学校新設、改修計画時にはその都度地域バランスや需要を考慮し特別支援学級や東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画における特別支援教室に使用可能な教室の設置を検討する。	【取組】 1 特別支援学級の適切な設置 城東地区の需要増に対応し、26年度に開設する第二亀戸小学校特別支援学級(情緒障害・通級学級)の開設準備を行った。 【取組】 1 特別支援学級の適切な設置 特別支援学級の地域バランスが改善され、より多くの児童の受け入れが可能となった。	1 特別支援学級の適切な設置 今後の学校新設、改修計画時にその都度地域バランスや需要を考慮し特別支援学級や東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画における特別支援教室に使用可能な教室の設置を検討する。また、特別支援教育に関する検討会を行い、より効果的な整備についても検討する。	学校支援課	新15	★5
	23 24 25 26 27						
24	良好な学習環境確保や環境に配慮した施設整備 (小・中学校校舎改修事業)	1 良好な教育環境の整備 24年11月に策定した「江東区立小中学校の改築・改修に関する基本的な考え方」に基づき進めている。	【取組】 1 良好な教育環境の整備 老朽化の現状や人口推計の将来予測などを総合的に判断して学校を選定し工事を行った。 【実績等】 ・小学校 校舎16校・屋内運動場1校 プール4校・校庭3校 ・中学校 校舎11校・屋内運動場4校 プール1校・校庭4校 【評価】 1 良好な教育環境の整備 改築・改修期間中に仮校舎を使用するにあたり、期間中のスクールバスの運行や学区域外での教育活動など、学校・保護者・地域住民の理解が得られるよう、計画や安全性について協議していかなければならない。	1 改修計画 限られた財政状況の中でコスト削減を図りつつ、校舎の老朽化や人口推計などを総合的に判断し、工事の優先順位を考慮しながら計画的改修を進めていく。	学校施設課	49	★5
	23 24 25 26 27						
25	安全安心な教育環境の確保や開かれた学校づくりに向けた施設整備 (校舎等の新增設事業)	1 豊洲西小学校開校へ向けた取組 24年12月から工事に着手し、27年2月竣工予定である。	【取組】 1 全区的な収容対策の検討・対策の推進 全庁的な体制のもと、豊洲地区・亀戸地区などの開発の動向を踏まえ、児童・生徒の推移予測や35人学級の進展、特別支援学級・通級学級の動向などを加味・検討し、施設整備の計画化を図った。 【実績等】 ・「小・中学校収容対策検討委員会」 延べ3回開催 2 豊洲西小学校開校へ向けた取組 27年度の開校に向け、豊洲西小学校開校準備委員会を設置し協議を図った。 【評価】 1 全区的な収容対策の検討・対策の推進 新設・増築について、南陽小学校、東雲小学校、北砂小学校の計画化を図った。 2 豊洲西小学校開校へ向けた取組 工事計画の工程どおり進んでいる。	1 新增設 急増する児童生徒数の動向を踏まえながら関係所管と連携し、新築・増設への取組を検討していく。 2 豊洲西小学校 運営方法や地域開放などの検討事項について、開校準備委員会を通して調整していく。	学校施設課・庶務課・学務課	50	★5
	23 24 25 26 27						
	(仮称)豊洲西小学校整備事業)	23 24 25 26 27					



No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プラン No	重点 No		
28	図書館サービスのIT化推進	<p>1 図書館オンラインシステムのリプレイス準備 25年9月、江東図書館のリニューアルオープンに合わせ、ICタグを活用した蔵書管理及びセルフ貸出機能等を盛り込んだ新図書館システム構築に向け準備を進める。</p> <p>2 デジタル資料の提供促進 デジタル化されている情報を閲覧・活用できる環境を提供する。</p>	<p><b>【取組】</b></p> <p>1 図書館オンラインシステムのリプレイス 図書館オンラインシステムのリプレイスを25年9月に実施した。</p> <p>2 デジタル資料の提供促進 (1)図書館オンラインシステムのリプレイス実施時に枝川サービスコーナーを除く全館にインターネットPCを設置した。 (2)音楽配信サービス(ナクソス・ミュージック・ライブラリー)利用環境の改善として、図書館HPのトップページにリンクを設定した。</p> <p><b>【実績等】</b> ・利用状況:年間延べ373人 4,268回</p> <p><b>【評価】</b></p> <p>1 図書館オンラインシステムのリプレイス (1)新しい図書館オンラインシステム稼働後、図書館HPをリニューアルした。この際、「こどものページ」「ティーンズのページ」を増設した。 (2)不具合の整備等を確実に実施し、安定稼働を継続していく必要がある。</p> <p>2 デジタル資料の提供促進 (1)枝川図書サービスコーナーを除く全館にインターネットPCを設置したことで、各種データベースの閲覧環境が整った。 (2)音楽配信サービス(ナクソス・ミュージック・ライブラリー)については図書館HPのトップページにリンクを設定したほか、館内ポスター掲示の見直しを行い利便性を高めた。</p>	<p>1 図書館オンラインシステムの安定稼働 (1)図書館オンラインシステムの整備を着実に実施し、安定稼働を継続していく。 (2)安定稼働により、ICタグを活用した蔵書管理の効率化、自動貸出返却機及び予約受け取りセルフ機能の導入等利用環境の向上を修繕計画に合わせて進める。</p> <p>2 デジタル資料の提供促進 デジタル化されている情報を閲覧・活用できる環境を提供する。</p>	江東図書館	新22	★5		
	(図書館管理運営事業)	<table border="1"> <tr> <td>23</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> </tr> </table>	23	24	25	26	27		
23	24	25	26	27					

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プラン No	重点 No					
29	<p>こども読書活動推進事業の実施</p> <p>(こども読書活動推進事業)</p> <table border="1"> <tr> <td>23</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> </tr> </table>	23	24	25	26	27	<p>1 こども読書環境サポーターの派遣 こども読書活動支援として、読書環境サポーター養成事業を行う。</p> <p>2 団体貸出セットの整備 こどもの読書環境支援として、団体貸出セットの提供事業を行う。</p> <p>3 こども読書推進啓発事業の実施 こどもの読書活動の啓発として、ブックリストの作成配布及び展示等に取り組む。</p> <p>4 施策推進に向けた取組 各所管の施策推進に向け関連した情報の共有を図り、連携や調整を行う。</p>	<p>【取組】</p> <p>1 こども読書環境サポーターの派遣 こどもの読書活動を支援するために自立的に館外に出張して活動する「こども読書環境サポーター」(読み聞かせボランティア)を養成し、館外に派遣する事業を展開した。</p> <p>【実績等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養成講座2回及び説明会・交流会3回実施。活動サポートとして読み聞かせボランティア専用貸出カードを発行した。</li> <li>・「読み聞かせ隊」登録者:61名</li> </ul> <p>出張おはなし会派遣実績:198回 延べ383名</p> <p>2 団体貸出セットの活用 区内全域の小学校及び子育て関連施設に対し、24年度に整備した「団体貸出セット」の活用を図った。</p> <p>【実績等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体貸出セット提供事業:100セット 4,070冊</li> <li>提供実績:137回 延べ6,053冊</li> <li>・24年度に実施した小学校(司書・図書担当教諭)へのアンケート及び貸出実績を元に、新たに4テーマを追加し、既存セット拡充と合わせて1,004冊を補充した。</li> </ul> <p>3 こども読書推進啓発事業の実施 ・読書案内推薦リストを発行。乳幼児向け・小学生向け・中学生向けの3種類を乳幼児の親及び児童生徒に配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども読書の日を挟んだ春のこどもの読書週間に館内でのお勧め本の展示を全館で実施した。</li> <li>・こども読書の日に、白河こどもとしょかんで元加賀小学校のPTAを対象に「保護者のための読み聞かせ講習会」を開催した。講習会受講者:18名</li> </ul> <p>4 進捗調査の実施 各施策の第2回目の進捗調査を実施した。</p> <p>【評価】</p> <p>1 こども読書環境サポーターの派遣 (1)今後もこども読書環境サポーター養成や読み聞かせボランティアのレベルアップを図り、館外での自立的な活動を支援拡大していくことに努める。 (2)受入施設の拡大とボランティアの活動支援を進める。</p> <p>2 団体貸出セットの活用 セット本の拡充と学校司書や子育て関連施設担当者との連携を深め、利用増を図っていく。</p>	<p>1 こども読書環境サポーターの派遣 こども読書活動支援として、読書環境サポーター養成事業を行う。</p> <p>2 団体貸出セットの活用 こどもの読書環境支援として、団体貸出セットの提供事業を行う。</p> <p>3 こども読書推進啓発事業の実施 こどもの読書活動の啓発として、ブックリストの作成配布及び展示等に取り組む。</p> <p>4 施策推進に向けた取組 各所管の施策推進に向け関連した情報の共有を図り、連携や調整を行う。</p>	江東図書館	78	★5
23	24	25	26	27								
30	<p>チーム江東・就学前支援プロジェクト</p> <p>(幼稚園地域幼児教育センター事業)</p> <table border="1"> <tr> <td>23</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> </tr> </table>	23	24	25	26	27	<p>1 「江東区保幼小連携教育プログラム」との統一に向けた取組 本事業と「江東区保幼小連携教育プログラム」との整合性・統一性を検討。</p>	<p>【取組】</p> <p>1 「江東区保幼小連携教育プログラム」との統一に向けた取組 22年度に就学前事業に係る連絡協議会を設置・検討。23年度に(仮称)「チーム江東・就学前支援プロジェクト検討委員会」を設置予定であったが、「幼保小の江東区版連携プログラム」の策定との関係で、設置は先送りとした。本事業と「江東区保幼小連携教育プログラム」との整合性・統一性を検討。</p> <p>【評価】</p> <p>1 「江東区保幼小連携教育プログラム」との統一に向けた取組 本事業を廃止し、「江東区保幼小連携教育プログラム」事業との一本化に向け検討を進める。</p>	<p>※25年度事業廃止 (「江東区保幼小連携教育プログラム」事業へ一本化)</p>	全課・室 学務課 他	新27	★5
23	24	25	26	27								

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プラン No	重点 No					
31	<p>幼保小の円滑な接続を見据えた江東区版連携プログラムの作成</p> <p>(教育調査研究事業)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>23</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> </tr> </table>	23	24	25	26	27	<p>1 「江東区連携教育の日」の実施 24年度より「江東区連携教育の日」を年間2回実施していく。</p> <p>2 「江東区保幼小連携教育プログラム」の活用 「江東区保幼小連携教育プログラム」の活用状況、連携教育の取組状況を調査し、よりよい連携教育を推進していく。</p>	<p><b>【取組】</b></p> <p>1 「江東区連携教育の日」の実施 (1)「江東区保幼小連携教育プログラム」を活用し、「江東区連携教育の日」を実施した。積極的な参加があり、様々な意見交換がなされた。 (2)新規の認証保育園があり、新たな中学校校区への編入が必要である。</p> <p><b>【実績等】</b></p> <p>・「江東区連携教育の日」:年2回実施 ・参加者2,611名</p> <p><b>【評価】</b></p> <p>1 「江東区連携教育の日」の実施 各校区の取組状況と成果、課題についてまとめた。取組内容は校区によって多少の差はあるが、連携の有効性については全校区で認めている。</p>	<p>1 「江東区連携教育の日」の実施 「江東区連携教育の日」を年間2回実施。</p> <p>2 「江東区保幼小連携教育プログラム」の活用と改訂 「江東区保幼小連携教育プログラム」の活用状況、連携教育の取組状況を調査し、よりよい連携教育を推進していく。</p>	学 指 校 導 支 室 援 課	新28	★5
23	24	25	26	27								

**★主な事務事業**

**柱のⅠ 確かな学力・豊かな人間性・健やかな体の育成**

- 重点施策 1 学習内容の充実**
- 重点施策 2 思いやりの心の育成**
- 重点施策 3 健康・体力の増進**
- 重点施策 4 教員の資質・能力の向上**

今後の展開

検討年度
部分又はモデル実施年度
継続又は完全実施年度

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
1	有明小・中学校における小中連携教育の推進  (幼小中連携教育事業)	1 小中連携教育の推進 25年度・26年度江東区研究協力校として有明小中学校を研究指定し、連携教育に関する研究の更なる推進を図るとともに、その事例を区内に積極的に発信していく。	【取組】 1 小中連携教育の推進 (1)有明小・中学校を24年度教育課題研究校に指定し、研究の推進を図った。 (2)合同部活動やその他合同行事にとどまらず、学習、生活指導等を含めて施設一体型のよさを生かした連携を推進している。  【評価】 1 小中連携教育の推進 施設一体型連携校として、連携の内容は深まってきているが、児童・生徒増に伴う、更なる工夫と、区内他校への先進的な事例の発信が必要である。	1 小中連携教育の推進 25年度・26年度江東区研究協力校として有明小中学校を研究指定し、26年11月に発表する。連携教育に関する研究の更なる推進を図るとともに、その事例を区内に積極的に発信していく。	学指 校 導 支 室 援 課	新3
	23   24   25   26   27					
2	コンピューターの設置及びインターネットへの接続、電子黒板の設置・学校ICT化の推進  (小・中学校コンピューター教育推進事業)	1 コンピューターの設置 コンピューター教室の機器について維持管理を継続する。  2 電子黒板の設置 小・中学校に3台ずつ配備されている電子黒板を26年度当初に最新機種に更新する。  3 学校ICTの整備検討 (1)引き続き学校ICT整備検討委員会を開催し、ICT整備のあり方を検討していく。 (2)26年度中に(仮称)江東区学校ICT化推進計画の策定を目指す。	【取組】 1 コンピューターの設置 コンピューター教室機器の維持管理を行った。  【実績等】 ・パソコン 配置数(1校あたり):小21台、中41台  2 電子黒板の設置 デジタル教科書の活用等により、授業の質の向上を図った。  【実績等】 ・電子黒板(1校あたり):3台  3 学校ICT整備検討委員会の設置 小・中学校におけるICT整備の総合的かつ計画的な推進について検討した。  【実績等】 ・26年3月、第1回検討委員会を開催した。  【評価】 1・2 コンピューター及び電子黒板の設置 情報化社会に対応した教育、ICT教育の実施に欠くことのできない設備となっている。  3 学校ICT化推進計画の必要性 ICT機器を最大限に活用し、効率的なICT環境を整備していくためには、学校のICT環境全体を見通した計画の策定が必要である。	1 コンピューターの設置 次回のリース更新時期に向けて、学校におけるICT活用のあり方や構築すべきICT環境について検討する。  2 電子黒板の設置 最新機種の導入により、授業でより一層の活用を図っていく。  3 計画の策定と事業の推進 策定した(仮称)江東区学校ICT化推進計画に基づき、27年度以降、学校ICT化推進のための事業実施を図る。	学指 務 導 課 室	1
	23   24   25   26   27					
3	バーコードリーダー設置  (中学校管理運営事業)	1 バーコードリーダーの活用 英語の授業において活用を図っていく。	【取組】 1 バーコードリーダーの活用 リスニング・スピーキングを効率よく進めることができる英語用資機材として授業で活用した。  【実績等】 ・設置数:中学校 全学年1台  【評価】 1 バーコードリーダーの設置 教科書の英文や単語をネイティブの発音で再生できるため、英語の授業において非常に有効である。	1 バーコードリーダーの活用 英語学習機材として有効であり、引き続き活用を図っていく。	学 務 課	2
	23   24   25   26   27					

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
4	校務用パソコンの管理  (小・中学校校務情報通信環境管理事業)	1 システムの保守・運用 セキュリティの徹底も含め、適切な保守・運用を継続していく。  2 機能の充実 校務の効率化を推進するため、成績処理機能の更なる活用を図っていく。	【取組】 1 システムの保守・運用 全小中学校の教員1人に1台配備した校務用パソコンの保守・運用を行った。  2 機能の充実 24年7月に成績処理機能(成績管理・時数管理・保健管理)を追加し、通知表や指導要録等の電子化を実施した。  【評価】 1 校務用パソコンの運用 教員の事務が効率化されるとともに、パソコンを用いた教材作成により、ICT教育の推進も図られている。	1 システムの保守・運用 27年度のシステム更改時に向けて、機器の更新の適否や配備基準の見直しを行っていく。また、システム利用にあたっての情報セキュリティを徹底する。  2 機能の充実 校務の効率化を推進するため、成績処理機能の更なる活用を図っていく。	学務課	3
	23 24 25 26 27					
5	校内LANの整備  (小・中学校コンピューター教育推進事業)	1 教室のインターネット環境整備 校内LANやネットワーク整備を進めていく。	【取組】 1 校内LAN等の整備 校舎の新増築や大規模改修等と合わせ、校内LAN(学校独自のLAN含む)の整備を行い、教室のインターネット環境の整備を行っている。  【実績等】 ・整備状況:小学校14校、中学校14校  【評価】 1 校内LAN等の整備 電子黒板等のICTを活用した授業を行っていく上で、教室へのインターネット環境の整備は欠かせないものとなってきている。	1 教室のインターネット環境整備 コンピューター教室の更新に向けての検討とあわせて、教室に必要なICT環境とネットワーク整備の計画に関する検討を行っていく。	学校施設課	4
	23 24 25 26 27					
6	外国人講師の派遣  (外国人講師派遣事業)	1 外国人講師の派遣 内容の充実と小学校ALT派遣についてもプロポーザルでの業者選定を検討していく。	【取組】 1 外国人講師の派遣 小学校、中学校へ各学級年間を通して外国人講師を派遣した。  【実績等】 ・小学校:1~4年 5時間 5~6年 20時間 ・中学校:全学年 20時間  【評価】 1 外国人講師の派遣 委託業者やALTとの打合せを十分に図り、コミュニケーション能力を高める外国語活動を推進した。	1 外国人講師の派遣 活動内容と研修の充実をはじめ、委託業者と仕様書の内容について検討する。	指導室	5
	23 24 25 26 27					
7	小中学校英語連携教育の推進  (外国人講師派遣事業)	1 英語連携教育のあり方の検討・推進 「江東区連携教育の日」などの取組を通して、よりよい英語連携教育のあり方について検討し、推進していく。	【取組】 1 英語連携教育の推進 小学校、中学校ともに英語プロジェクト委員会を設置し、連携のあり方について検討するとともに、臨海小学校において小中で連携した小学校外国語活動の授業研究を実施した。  【評価】 1 英語連携教育のあり方の検討 大学の教授を講師として招聘し、授業研究を実施し、外国語活動のねらいや趣旨を理解することができた。	1 英語連携教育のあり方の検討・推進 「江東区連携教育の日」「英語スタンダード」の取組を通して、よりよい英語連携教育を推進し、成果を検証する。	指導室	6
	23 24 25 26 27					
8	コンピュータ校内研修促進  (教職員研修事業)	1 研修内容の見直し (1)研修内容を精選し、より実践的な研修内容とする。 (2)電子黒板の研修は、学校を会場として、年間数回実施していく。	【取組】 1 研修内容の見直し 教育センターにおける選択研修で各種のコンピュータ研修を実施するとともに、各校の要望に応じた研修内容を実施した。  【評価】 1 研修内容の見直し 電子黒板の有効活用をはじめとする授業改善を図る必要がある。	1 研修内容の見直し (1)研修内容を精選し、より実践的な研修内容とする。 (2)電子黒板の研修は、学校を会場として、年間5回実施していく。	教育センター	7
	23 24 25 26 27					
9	ICT校内LAN活用研究  (教育調査研究事業)	1 校務用LAN活用の検討 (1)情報教育専門委員会を活用し、他課とも連携しながら検討を進めるとともに、教育課題研究校等によるICT活用研究も視野に入れていく。 (2)校務用LANの有効な活用方法について検証する。	【取組】 1 校務用LAN活用の検討 情報教育専門委員会において、電子黒板の切り替えと校務用LANの実施状況について検討した。  【評価】 1 校務用LAN活用の検討 ICTの活用推進には、十分な予算が必要になる。校務用LANの有効活用について検討を重ねていく必要がある。	1 校務用LAN活用の検討 (1)情報教育専門委員会を活用し、他課とも連携しながら検討を進めるとともに、教育課題研究校等によるICT活用研究も視野に入れていく。 (2)校務用LANの有効な活用方法について検証する。 (3)ICT推進校の指定	指導室	8
	23 24 25 26 27					

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
10	特色ある学校・幼稚園づくりを展開するため、授業・保育内容の充実等の活動を支援  (特色ある学校づくり支援事業)  23 24 25 26 27	1 特色ある教育活動の支援 (1)予算については各学校の計画により査定し、適切に配当していく。 (2)各学校・幼稚園の特色ある教育活動を支援していくために、より効果的な方策を検討していくとともに実績等についての検証を行っていく。	【取組】 1 特色ある教育活動の支援 25年度は、小・中学校においては計画により査定を行い、傾斜配分を実施した。 【実績】 予算 幼稚園:各園8万円 小・中学校:各校平均40万円 【評価】 1 特色ある教育活動の支援 (1)本事業による予算により、各学校が独自の教育活動を実施することができている。 (2)各学校の取組の検証を更に行い、本事業の充実を図っていく必要がある。	1 特色ある教育活動の支援の充実 (1)予算を配当予算化し、学校がより適正に活用できるようにしていく。 (2)本事業での予算が各学校の特色をより支援できるように、計画書を工夫するとともに査定をしっかりと行い、必要な事業に十分な予算が配当できるようにしていく。	学校指導室 支援課	9
11	幼小中の教職員を対象とした基本ソフトの研修  (教育センター管理運営事業)  23 24 25 26 27	1 研修内容の充実 ホームページの作成や電子黒板の活用をはじめ、学習が効果的に展開される研修内容の充実を図る。	【取組】 1 基礎研修の実施 夏季休業を中心に、基礎的な研修を行った。 【実績等】 ・24コース 受講者延べ275名 【評価】 1 基礎研修の内容見直し 教員のパソコン技能が向上し、内容の充実が更に求められている。また、授業に活用できる効果的な研修内容の検討が必要である。	1 研修内容の充実 今後もホームページ作成や電子黒板の活用など、学習の場面で効果的に展開されるように取り組んでいく。	教育センター	14
12	こどもに理科への興味・関心を高めるとともに、観察力を育てるための理科教室の開催  (教育センター管理運営事業) ⇒25年度より (特色ある学校づくり支援事業)  23 24 25 26 27	1 こども理科教室 企業や区内の科学館等と連携を模索し、内容の充実、事業の発展を図る。  2 夏休みこども顕微鏡教室 (1)実績を基に、事業の改善をはかる。 (2)理科実技研修会で高めた教員の資質能力の活用等も視野に入れていく。  ※25年度より学校支援課で事業実施。	【取組】 1 こども理科教室 小学校4・5・6年生を対象に区報で公募し、2期に分け、土曜日に亀高小学校で実施した。 【実績等】 ・各5回(計10回) 参加者延べ182名 2 夏休みこども顕微鏡教室 小学校4・5・6年生を対象に区報で公募し、夏休みに亀高小学校で実施した。 【実績等】 ・2日間 参加者延べ32名 ・例年3回実施してきたが、25年度は区行事と日程が重なったこともあり2回の実施とした。 【評価】 1 こども理科教室 参加した児童からは好評を得ている。理科教室で高めた興味関心の生かし方と内容の充実が課題である。 2 夏休みこども顕微鏡教室 参加した児童は楽しんで観察に取り組んでいた。今後は内容の工夫を行う。	1 こどもサイエンス教室 区内の企業と連携するとともに区内の教員の資質能力の活用・向上を図りながら実施していく。 26年度より名称を変更することとした。 2 夏休みこども顕微鏡教室 こどもサイエンス教室と同様に、区内の教員の資質能力の活用・向上を図りながら実施していく。  ※26年度より学校支援課の所管事業として「特色ある学校づくり支援事業」で予算措置している。	学校支援課	15
13	幼小中の理科及び施設設備の管理運営、教材研究等の相談  (教育センター管理運営事業) ⇒25年度より (特色ある学校づくり支援事業)  23 24 25 26 27	1 理科教育担当相談員の訪問等による指導助言 理科教育に関わる支援は学校支援課で担当することになった。学校や教員のニーズに適時的に対応できるよう改善を図っていく。  2 科学出前講座 学校に出向いて出前講座を行うことで、児童の理科に対する興味関心を高めるとともに教員の理科指導に関する資質もう力の向上にも寄与していく。  3 ちょっと教えて！理科授業 教員が抱えている理科の教材研究に関する疑問・質問に答えることで、教員の授業を支援していく。  ※25年度より学校支援課で事業実施。	【取組】 1 理科教育担当相談員の訪問等による指導助言 学校支援課の理科教育担当相談員が理科支援員への巡回訪問に合わせて、理科室等の効果的な整理の仕方、実験道具の効果的な利用方法等、教員のニーズに応じた支援活動を行った。 2 科学出前講座 学校支援課の理科教育担当相談員が、希望する学校に出向いて講座を実施した。 【実績等】 72学級 120時間 3 ちょっと教えて！理科授業 学校支援課の理科教育担当相談員が、常時、ファックス・交換便・メール・電話で寄せられた学校からの疑問・質問に答えた。 【評価】 1 相談員の訪問等による指導助言等 学校や教員のニーズに応じた支援ができた。また新たに始めた科学出前講座や理科に関する相談については、実施した学校からは高評価を受けている。	1 教育センター相談員の訪問等による指導助言 理科教育に関わる支援は学校支援課で担当することになった。学校や教員のニーズに適時的に対応できるよう更に充実を図っていく。 2 科学出前講座 希望校の調整を行いながら、より多くの学校で実施できるようにしていく。 3 ちょっと教えて！理科授業 より多くの教員の疑問・質問に答えていくとともに、回答を全教員で共有できるようにしていく。  ※26年度より学校支援課の所管事業として「特色ある学校づくり支援事業」で予算措置している。	学校支援課	16

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
14	パソコン操作と作品作りを通して家族のコミュニケーションを図る  (教育センター管理運営事業)	※23年度事業終了	【取組】※23年度事業終了までの取組 1 ファミリーパソコン教室 パソコン操作の基礎を学んだり、扇子や名刺などの作品づくりをして、親子で楽しいひと時を過ごした。 【実績等】 ・23年度 年間5回実施 参加12名  【評価】※23年度事業終了時の評価 1 ファミリーパソコン教室 家庭にパソコンが普及し、扱いにも慣れてきている家庭が多い。そのため参加者が大変少なく、意義が失われてきているため23年度をもって事業終了とした。	※23年度事業終了	教育センター	17
	23 24 25 26 27					
15	教科担任制講師の派遣  (小学校教科担任制推進事業)	※23年度事業終了	【取組】※23年度事業終了までの取組 1 教科担任制講師の派遣 授業の質的向上を目指し、また中1ギャップに対する予防策として、特色ある学校づくり支援事業の1つのメニューとして実施した。 【実績等】 ・23年度 小学校3校  【評価】※23年度事業終了時の評価 1 教科担任制講師の派遣 若手教員の育成、学力強化事業の優先性等を考慮し、23年度をもって配置を終了とした。	※23年度事業終了	学校指導支援課	18
	23 24 25 26 27					
16	「循環型食品リサイクル」給食残渣等の活用  (小・中学校管理運営事業)	1 環境教育の推進 給食生ごみのリサイクルに興味を持つとともに、生産者等への感謝と残菜量を減らすことにも関心を高める必要がある。リサイクルによって有効的に活用されていることを伝えていく。	【取組】 1 給食残渣の活用 20年度より全小中学校を対象とし、給食残渣を養豚、養豚用の飼料へリサイクルしている。また、環境教育の一環として飼料化施設等の見学も実施している。 【実績等】 ・25年度実施 小学校4校  【評価】 1 給食残渣の活用 授業や委員会活動の中で、残菜量、ごみの処理方法への関心が高まっている。食育の一環として取り上げる学校も多い。	1 環境教育の推進 循環型リサイクルへの児童の関心を高めるため、飼料化施設等への見学を継続して実施していく。	学務課	新4
	23 24 25 26 27					
17	「和」の心を知る体験活動  (健全育成事業)	1 効果的な体験活動の展開 社会科や総合的な学習の時間等を通じて、江東区の伝統文化について学び、学習により効果的な体験活動を展開する。	【取組】 1 伝統文化等を学ぶ体験活動 中学校において、風呂敷の使用方法、礼法等について学ぶ。  【評価】 1 伝統文化等を学ぶ体験活動 体験活動を通して、江東区の伝統文化に特化した取組の検討を進めていく必要がある。	1 効果的な体験活動の展開 社会科や総合的な学習の時間等を通じて、江東区の伝統文化について学び、学習により効果的な体験活動を展開する。	指導室	新5
	23 24 25 26 27					
18	幼児の道徳性育成研修 道徳授業地区公開講座  (健全育成事業)	1 幼児の道徳性育成研修 内容の充実を図り、小学校の教員や保護者の参加を更に増やしていく。 2 道徳授業地区公開講座 各学校に実施時期や内容を更に工夫させる。	【取組】 1 幼児の道徳性育成研修 参加対象者を幼稚園だけでなく、保育園や小学校にも広げて実施した。 【実績等】 ・道徳性育成研修:4会場で合計193名参加 2 道徳授業地区公開講座 実施方法の工夫について、道徳教育推進教師対象に研修を実施した。 【実績等】 ・道徳授業地区公開講座:全校で実施 延べ6,614名参加  【評価】 1 幼児の道徳性育成研修 講師として校長と園長から講話を行い、保育士、幼稚園教員、小学校教員、保護者の間でよりよい意見交換を行うことができ、参加者からも高評価を得た。	1 幼児の道徳性育成研修 内容の充実を図り、小学校の教員や保護者の参加を更に増やしていく。 2 道徳授業地区公開講座 各学校に土日開催等の実施時期や意見交換会の実施等、内容を更に工夫させる。	指導室	19
	23 24 25 26 27					

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
19	礼法マナー教室(中学校)  (健全育成事業・教職員研修事業)	1 礼法マナー教室の成果検証 よりよい支援方法を検討するために、実施状況を把握し、その成果の検証を行っていく。	【取組】 1 礼法マナー教室の支援 礼法マナー教室における講師謝礼に対して支援を行った。 【実績等】 ・中学校5校  【評価】 1 礼法マナー教室の実施 受験に備えた面接練習の講師として実施している学校が多い。	1 礼法マナー教室の成果検証 よりよい支援方法を検討するために、実施状況を把握し、その成果の検証を行っていく。	指導室	20
	23 24 25 26 27					
20	合宿通学  (合宿通学事業)	1 学校支援地域本部への展開 当事業を将来的に学校支援地域本部の展開にあわせて位置づけることを検討する。	【取組】 1 地域での体験活動等の取組 協調性や地域の教育力向上を目的として、地元の地区集会所等で指導ボランティアと過ごす合宿や、商店街等での職場体験を実施した。 【実績等】 ・取組状況:8校 延べ10回実施  【評価】 1 地域での体験活動等の取組 参加児童からの評価も高く、教育効果も高い。	1 合宿通学事業のあり方の検討 当事業の今後の展開について、学校支援地域本部への展開を含め、総合的に検討を行う。	放課後支援課	21
	23 24 25 26 27					
21	自然観察に適した場所・観察方法等の指導  (教育センター管理運営事業)	※24年度事業終了	【取組】 1 日光移動教室における自然観察活動援助の実施 小学校の日光移動教室に同行し、日光戦場ヶ原の自然観察、源泉・湯川の水質調べ等の指導・支援を行った。宿舎にある天体望遠鏡を使い、月や星の観察を行い、天体に関する理科を深めることができた。 【実績等】 ・実施校1校(6年生)  【評価】 1 日光移動教室(自然観察活動援助) 一部の学校へのみの支援となっていることから、今後のあり方について検討しつつ、学校支援課からの支援を行い、24年度をもって、本事業を終了した。	※24年度事業終了	教育センター	22
	23 24 25 26 27					
22	武道教材の整備  (武道教材整備事業)	※23年度事業終了	【取組】※23年度事業終了までの取組 1 武道教材の整備 22・23年度で中学校20校へ柔道畳や剣道防具一式を整備した。  【評価】※23年度事業終了時の評価 1 武道教材の整備 不足する教材の整備により、24年度に全面实施となった新学習指導要領に対応することができた。	※23年度事業終了	学務課	26
	23 24 25 26 27					
23	都立科学技術高校との交流教育  (教職員研修事業)	1 都立科学技術高校との交流による理科教育の充実 中学校生徒による理科研究発表会の内容充実と連携による理科教育の充実を図っていく。	【取組】 1 都立科学技術高校との交流 (1)都立科学技術高校で理科研究発表会を実施した。 (2)今後の連携の方策について都立科学技術高校と検討した。  【評価】 1 都立科学技術高校との交流 理科に関する専門的見地からの指導、助言は中学校生徒の興味や関心を高めた。	1 都立科学技術高校との交流による理科教育の充実 中学校生徒による理科研究発表会の内容充実と連携による理科教育の充実を図っていく。	指導室	28
	23 24 25 26 27					
24	幼稚園教育研修会(幼稚園・保育園協同研修会)  (教職員研修事業)	1 幼稚園・保育園における研修会等の機会拡充 今後も引き続き「江東区連携教育の日」を年間2回設定し、公私立保育園・幼稚園・認証保育園にも参加を呼びかける等、保育園等が研修会等への参加できる機会を更に増やしていく。	【取組】 1 保幼合同研修会の実施 (1)幼稚園の教員と保育園の保育士が共に学ぶ場として、「保幼合同研修」を実施した。 (2)「幼児の道徳性育成研修」にも参加を呼びかけ、高い評価を得た。 【実績等】 ・保幼合同研修:年2回実施  【評価】 1 保幼合同研修の実施 「保幼合同研修会」は、保幼で共通する課題について学び合うことができ、相互の保育交流にもつながった。	1 幼稚園・保育園における研修会等の機会拡充 今後も引き続き「江東区連携教育の日」を年間2回設定し、公私立保育園・幼稚園・認証保育園にも参加を呼びかける等、保育園等が研修会等への参加できる機会を更に増やしていく。	指導室	29
	23 24 25 26 27					

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
25	<p>教員及び理科支援員を対象とした理科安全指導</p> <p>(教育センター管理運営事業) ⇒26年度より (教職員研修事業)</p> <p>23 24 25 26 27</p>	<p>1 理科実技研修会(安全指導)への講師派遣 新たな教材の活用方法を含めた研修内容の改善を図る。理科支援員に対しては支援員の実態に応じて学校支援課の理科教育担当相談員が訪問指導を行う。</p> <p>※25年度より学校支援課に移管。26年度より教員向けの理科実技研修会は指導室に移管。</p>	<p>【取組】 1 理科実技研修会(安全指導)への講師派遣 小学校5校を会場にし、会場校の教員を中心に近隣小学校の教員が参加し、実施した。薬品等の取り扱い方、危険を伴う指導事項について安全指導を中心に指導を行った。 【実績等】 ・実施回数:5回 参加者数:154名</p> <p>2 理科支援員を対象とした指導 理科支援員訪問を行った際に指導を行った。 【実績等】 ・実施回数:40回</p> <p>【評価】 1 理科実技研修会(安全指導)への講師派遣 若手教員も増えており、参加者からは高い評価を得ているが、実施方法や内容をより工夫していく必要がある。</p>	<p>1 理科実技研修会(安全指導)への講師派遣 若手の教員の増加と理科の指導を苦手とする教員も多いことから、新たな教材の活用方法を含め、研修内容の充実を図りながら実施していく。 実施回数には限りがあるため、実施方法や内容は更に工夫していく。</p>	学 指 導 支 援 課	31
	<p>幼小中の教員の指導力向上のための理科実技研修の実施</p> <p>(教育センター管理運営事業) ⇒26年度より (教職員研修事業)</p> <p>23 24 25 26 27</p>	<p>1 理科実技研修会の開催 研修会の精選を行うとともに、質の高い研修会を実施し、参加教員の増加及び指導力の向上を図っていく。</p> <p>※25年度より学校支援課に移管。26年度より教員向けの理科実技研修会は指導室に移管。</p>	<p>【取組】 1 理科実技研修会の開催 動植物の育て方等、ニーズが高く基礎的な内容を重視した実技研修会を開催した。 【実績等】 ・実施回数:5回 参加者数:141名</p> <p>【評価】 1 理科実技研修会の開催 参加者のニーズに合った研修が実施できた。今後は、更に実施方法及び内容の工夫を図っていく。</p>	<p>1 理科実技研修会の開催 安全指導同様、若手の教員の増加と理科の指導を苦手とする教員も多いことから、ニーズに合った内容の研修の実施に努めていく。</p>	学 指 導 支 援 課	32
27	<p>視聴覚教材の貸出し</p> <p>(教育センター管理運営事業)</p> <p>23 24 25 26 27</p>	<p>1 視聴覚教材の貸出し 今後は作業部会を立ち上げ調査・改善策をまとめ、26年度において指導室も含め検討委員会を設置する。</p>	<p>【取組】 1 視聴覚教材の貸出し 22年度に「教材一覧」を各校に配付しており、この一覧を参考にしている。 【実績等】 ・貸出し実績:7人 35件</p> <p>【評価】 1 視聴覚教材の貸出し 視聴覚教材の貸出し実施方法の工夫及び、利活用の充実が課題である。</p>	<p>1 視聴覚教材の貸出し 作業部会を立ち上げ指導室も含め検討委員会を設置して、利活用の充実に取り組んでいく。</p>	教 育 セ ン タ ー	33
	<p>教育資料の紹介</p> <p>(教育センター管理運営事業)</p> <p>23 24 25 26 27</p>	<p>1 教育関係資料利用・貸出し 今後は作業部会を立ち上げ調査・改善策をまとめ、26年度において指導室も含め検討委員会を設置する。</p> <p>2 教科書展示会 今後も継続していく。</p>	<p>【取組】 1 教育関係資料利用・貸出し 研究冊子や教育雑誌等、教育関係資料の貸出しを行った。 【実績等】 ・利用・貸出し実績:34人 94件</p> <p>2 教科書展示会 教科書展示を6/14～7/3の期間で行った。 【実績等】 ・教科書展示:来室者70名</p> <p>【評価】 1 教科書関係資料利用・貸出し 研究冊子、教育資料は教育センター職員の活用が大多数で、教職員の活用はない。教育関係資料の貸出し方法の工夫が課題である。</p>	<p>1 教育関係資料利用・貸出し 作業部会を立ち上げ調査・改善策をまとめ指導室も含め検討委員会を設置教職員が活用しやすいように取り組んでいく。</p> <p>2 教科書展示会 今後も実施していくが、来訪者の増加を目指し、更なる周知に努めていく。</p>	教 育 セ ン タ ー	34
29	<p>抽出校以外の学校を区費で調査</p> <p>(教育調査研究事業)</p> <p>23 24 25 26 27</p>	<p>1 授業改善推進プランへの反映 全国学力・学習状況調査については、今後も全校で実施する。その結果については授業改善推進プランに反映する。</p>	<p>【取組】 1 全国学力・学習状況調査の実施 (1)全国学力・学習状況調査は全校で実施し、集計及び個人票の作成等を区費で実施した。 (2)区として結果を分析し、各学校に改善策について提示した。各学校では、それぞれの結果を授業改善推進プランに反映させ、学力の向上に努めた。</p> <p>【評価】 1 全国学力・学習状況調査の実施 小学校においては全国平均を上回った。中学校においても改善の兆しが見られた。</p>	※26年度事業廃止	指 導 室	35

柱のⅡ 安心して通える楽しい学校（園）づくりの推進

- 重点施策 5 個に応じた教育支援の推進
- 重点施策 6 いじめ・不登校対策の充実
- 重点施策 7 教育施設の整備・充実

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
30	区立幼稚園等における特別支援教育の推進  (幼稚園特別支援教育事業)	1 介助員の配置 支援が必要な幼児について、介助員の配置を行っていく。  2 幼稚園教員を対象にした特別支援教育研修会の実施 臨床心理士が講師となり、幼稚園のニーズに合わせた指導助言を行っていく。	【取組】 1 介助員の配置 支援が必要な幼児の対応のため、幼児及び園の状況を視察し、介助員を配置した。 【実績等】 ・全20園に配置  2 幼稚園教員を対象にした特別支援教育研修会の実施 幼稚園と事前に内容の検討を行い、臨床心理士が講師となり、幼児への対応方法や教材等についての指導助言を行った。 【評価】 1 介助員の配置 介助員配置により該当幼児の生活支援、安全確保等を図ることができた。 2 専門員等による助言 助言により各園の教員の指導力が向上し、幼児の支援に効果を上げた。また肢体不自由児の特別支援学校による訪問、相談など連携も図ることができた。	1 介助員の配置 就園相談での情報を基に年度当初から積極的に介助員の配置を行うとともに、追加要請についても園訪問を行い、介助員の適切な配置に努めていく。  2 幼稚園教員を対象にした特別支援教育研修会の実施 幼稚園との連携を図りながら、幼稚園に特化した研修会の実施に努めるとともに、専門員派遣での指導助言と効果的にリンクさせていく。	学校支援課	新10
	23 24 25 26 27					
31	区立幼稚園への専門員派遣  (幼稚園特別支援教育事業)	1 専門員の派遣 学校支援課の臨床心理士を中心に退職園長のほか状況に応じて特別支援学校の特別支援教育コーディネーターを派遣し、指導・助言を行っていく。	【取組】 1 専門員の派遣 支援を必要とする幼稚園からの要請を受け、臨床心理士を派遣し指導の助言を行った。 【実績等】 ・幼稚園への派遣回数 9回  【評価】 1 専門員の派遣 個に応じた支援を必要とする幼児に対し、具体的な指導方法を助言することにより教員の指導力の向上及び幼児の安定につながった。	1 専門員の派遣 臨床心理士を中心に積極的に園に派遣を行い、園における組織的な支援ができるよう指導助言をしていく。	学校支援課	新11
	23 24 25 26 27					
32	中国語等専門員、日本語指導講師の派遣  (日本語指導員派遣事業)	1 日本語指導講師の派遣の充実 初期の生活言語獲得のための日本語指導が目的であるが、派遣期間の延長などニーズに応じたよりよい派遣を行う。	【取組】 1 日本語指導講師の派遣 これまで同様、日本語指導が必要な児童・生徒に対して、講師の派遣を行ってきた。 【実績等】 ・年間1,081回派遣  【評価】 1 日本語指導講師の派遣 日本語の会話、筆記できるようになるまで時間を要することが多く、事業の継続は不可欠である。派遣期間延長の申請も多く、柔軟に対応した。	1 日本語指導講師の派遣の充実 初期の生活言語獲得のための日本語指導が目的であるが、派遣期間の延長などニーズに応じたよりよい派遣を行う。	指導室	36
	23 24 25 26 27					
33	専門医による医学相談  (教育相談事業)	1 専門医による医学相談 保護者の要望も高く今後も継続していく。	【取組】 1 専門医による医学相談 専門医による年12回の相談会を行った。 【実績等】 ・相談件数:39件  【評価】 1 専門医による医学相談 保護者がこどもの発達等について一層理解を深めることにつながっている。	1 専門医による医学相談 保護者の要望も高く、専門性も高いので、今後も継続して取り組んでいく。	教育センター	39
	23 24 25 26 27					

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
34	就学相談  (幼稚園・小学校・中学校特別支援教育事業)  <b>23</b> <b>24</b> <b>25</b> <b>26</b> <b>27</b>	<b>1 就学相談システムの充実</b> 就学前教育施設等と早期から連携し、就学等についての理解を深めるとともに、就学後も継続的に相談を行うなどシステムの整備を図っていく。	<b>【取組】</b> <b>1 就学相談システムの充実</b> 心身に何らかの障害がある等、学校生活に不安がある子どもについて、医師の診察や心理学者、現職教員等の専門的知識による行動観察を行い、子どもの保護者を対象に、個々の子どもに適した教育環境について、適切な就学等の助言をした。また、就学後も希望に応じ、継続的に相談を行っていくシステムとした。 <b>【実績等】</b> ・相談件数:258件 <b>【評価】</b> <b>1 就学相談システムの充実</b> こどもの実態に応じ、保護者に寄り添い相談を進めてきた。今後も相談件数の増加に対応できるよう、更にシステムの改善・充実を図っていく必要がある。	<b>1 就学相談システムの改善・充実</b> (1)こどもの状況に応じたシステムの構築を図り、少しでも保護者の負担を軽減していく。 (2)早期から関係機関との連携を強化し、保護者の就学に対する不安を減らしていく。 (3)引き続き、入学後も希望に応じて継続的に相談を行う。状況によっては学校訪問を行うなど、更に内容の充実を図っていく。 (4)相談実施環境の整備を図るなど、よりきめ細やかな対応ができるようにしていく。	学校支援課	40
35	不登校児童・生徒の保護者対象講習会  (健全育成事業)  <b>23</b> <b>24</b> <b>25</b> <b>26</b> <b>27</b>	<b>1 保護者会等の内容充実</b> 年3回の保護者会や12月の進学説明会開催、参観期間を通じて、よりよい実施方法・内容等について検討していく。	<b>【取組】</b> <b>1 保護者会等の実施</b> (1)ブリッジスクールにおいて保護者会を実施した。保護者会の折には、職員と保護者、保護者同士で意見交換ができるようにした。 (2)スクーリングサポートセンター(SSC)報告会では、SSCの活動状況等について報告を行った。 <b>【実績等】</b> ・保護者会:年3回開催 ・SSC報告会:年2回実施 <b>【評価】</b> <b>1 保護者会等の実施</b> 更なる充実を図り、不登校児童・生徒の保護者にとって、再登校に向けた契機となるよう創意工夫を図った。	<b>1 保護者会等の内容充実</b> 年3回の保護者会や12月の進学説明会開催、参観期間を通じて、よりよい実施方法・内容等について検討していく。	指導室	42
36	学校裏サイトの監視  (健全育成事業)  <b>23</b> <b>24</b> <b>25</b> <b>26</b> <b>27</b>	<b>1 学校裏サイト監視のあり方検討</b> (1)引き続き、裏サイト監視事業のよりよいあり方について検討する。 (2)必要に応じて小学校を対象とした検索を検討していく。	<b>【取組】</b> <b>1 学校裏サイトの監視</b> (1)中学校を対象としたインターネット上の不適切な書き込み等に対して検索と削除依頼をかける等の対応、生徒に対する指導をあわせて行った。小学校においても抽出校で調査を行ったが、問題はなかった。 (2)24年度までは掲示板型のみによる検出だったが、25年度からは掲示板型の他、ブログ型、ブログ型、ツイッター型の検出とした。 <b>【実績等】</b> ・検出10,252件、内削除対象89件、削除済50件、削除不可31件 <b>【評価】</b> <b>1 学校裏サイトの監視</b> 未然防止、再発防止の視点から、一定の抑止効果がある。	<b>1 学校裏サイト監視のあり方検討</b> (1)引き続き、裏サイト監視事業のよりよいあり方について検討する。 (2)必要に応じて小学校を対象とした検索を検討していく。	指導室	43
37	ブリッジスクール進路説明会・保護者会  (適応指導教室事業)  <b>23</b> <b>24</b> <b>25</b> <b>26</b> <b>27</b>	<b>1 講演会実施の検討</b> 保護者のニーズに応じた講演会実施を検討していく。進路説明会には外部講師を招き、講演を行う。	<b>【取組】</b> <b>1 ブリッジスクール進路説明会等の開催</b> ブリッジスクールにおいて、進路についての相談や説明会を実施した。 <b>【実績等】</b> ・25年度 11月開催 <b>【評価】</b> <b>1 ブリッジスクール進路説明会等の開催</b> 保護者にとって、貴重な情報提供や相談の場となっている。	<b>1 講演会実施の検討</b> 保護者のニーズに応じた講演会実施を検討していく。進路説明会には外部講師を招き、講演を行う。	教育センター 指導室	45

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
38	適応相談員の学校訪問・家庭訪問  (教育相談事業)	1 適応相談員の学校訪問・家庭訪問 児童・生徒の実態把握は必要である。今後は不登校の未然防止や解消につなげることを目指し、更に内容の充実を図っていく。	【取組】 1 適応相談員の学校訪問・家庭訪問 年間3回の学校訪問により、児童・生徒の実態を把握することができた。 【実績等】 ・学校訪問:小15名 累計57回 中30名 累計70回 【評価】 1 適応相談員の学校訪問・家庭訪問 学校と児童・生徒の実態を共有することができた。	1 適応相談員の学校訪問・家庭訪問 今後も不登校の未然防止や解消につなげることを目指し、更に内容の充実に取り組んでいく。	教育センター	46
	23 24 25 26 27					
39	不登校児童・生徒の状況調査  (教育相談事業)	1 不登校児童・生徒の状況調査 不登校対策に生かすために、状況調査は不可欠である。今後も継続していく。	【取組】 1 不登校児童・生徒の状況調査 (1)学校訪問を行い、児童・生徒の実態を把握することができ、その後、不登校対策に生かすことができた。 (2)報告会を開催し、調査結果を報告するとともに、今後の対策等について検討を行った。 【実績等】 ・報告会:3回(7/11、12/12、3/12) 【評価】 1 不登校児童・生徒の状況調査 学校と児童・生徒の実態を共有することができた。	1 不登校児童・生徒の状況調査 不登校対策に生かすために、正確な実態の把握は不可欠である。今後も継続して取り組んでいく。	教育センター	47
	23 24 25 26 27					
40	臨床心理士による事例問題検討会  (教育相談事業)	1 臨床心理士による事例問題検討会 教育相談の内容も多岐にわたり、臨床心理士の事例検討の重要性が高まっている。今後も継続していく。	【取組】 1 臨床心理士による事例問題検討会 臨床心理士の専門性が高まり、保護者、各校の心理士(SC)の協力により適切な相談ができるようになった。 【実績等】 ・年3回 参加者62人 【評価】 1 臨床心理士による事例問題検討会 保護者の信頼も高まっている。	1 臨床心理士による事例問題検討会 教育相談の内容も多岐にわたり、専門性も高いので臨床心理士の事例検討を今後も継続していく。	教育センター	48
	23 24 25 26 27					
41	区立小・中学校の特別教室にエアコンを設置  (小・中学校特別教室冷暖房化事業)	※23年度事業終了	【取組】※23年度事業終了までの取組 1 特別教室へのエアコン設置 23年度をもって設置完了した。  【評価】※23年度事業終了時の評価 1 特別教室へのエアコン設置 全ての区立小・中学校の普通教室・特別教室はエアコンが設置され、学習環境の向上が図られた。	※23年度事業終了	学校施設課	51
	23 24 25 26 27					
42	温水シャワーの設置  (温水シャワー設置事業)	1 温水シャワーの計画的な設置 引き続き大規模改修に合わせて設置を検討していく。	【取組】 1 温水シャワーの設置 大規模改修に伴い2校設置した。リースでの設置希望はなかった。 【実績等】 ・大規模改修設置校 浅間堅川小学校、扇橋小学校 ・リース設置校 なし ・合計34校設置済  【評価】 1 温水シャワーの設置 汗や紫外線、プールの消毒等でアレルギー疾患をもつ児童・生徒に対して、症状改善の効果が図られた。	1 温水シャワーの設置 引き続き大規模改修に合わせて設置を検討していく。	学校学務施設課	52
	23 24 25 26 27					

柱のⅢ 地域や教育関係機関との連携による教育力の向上

重点施策 8 地域に根ざした教育の推進

重点施策 9 開かれた学校（園）づくり

重点施策 10 教育関係機関との協力体制の構築

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo.
43	学校支援ボランティア推進協議会事業 (学校支援地域本部)	1 学校支援地域本部事業の推進 (1)25年度の実施校に加え、26年度は新たに南陽小学校、東川小学校、第二辰巳小学校、第四大島小学校、第五砂町小学校、東砂小学校、深川第一中学校、亀戸中学校の8校を加えて、全15校で実施していく。 (2)今後も地域と学校との実態に合わせ、取組を展開していく。	【取組】 1 学校支援地域本部事業の推進 これまでの実施校である八名川小学校、第三砂町中学校、毛利小学校、第二亀戸小学校に、25年度は深川小学校、第二大島小学校、第二亀戸中学校の3校を加えて実施した。 【実績等】 ・設置校数:小学校5校、中学校2校 【評価】 1 学校支援地域本部事業の推進 学校支援地域本部が活動することにより、地域と学校の相互理解が深まり、児童・生徒の体験や学習の幅が広がっている。	1 学校支援地域本部事業の推進 (1)長期計画で設定した26年度に15校の目標数値に至ったため、今後の方向性について充分検討のうえ事業を継続していく。 (2)今後も地域と学校との実態に合わせ、取組を展開していく。	学校支援課	新16
	23 24 25 26 27					
44	江東区俳句教育推進事業	1 授業における取組 小・中学校への俳句講師派遣の充実を図るとともに教員向けに研修等を実施していく。 2 俳句部の取組 中学校俳句部への活動支援を継続する。 3 区独自の俳句大会の検討 区独自の俳句大会を実施するための検討を進めていく。 ※これまで「特色ある学校づくり支援事業」の中で実施してきた事業を、26年度より「俳句教育推進事業」として独立した予算立てを行い、区内における俳句教育の充実を図る。	【取組】 1 授業における取組 小学校に俳句講師を派遣し、各学校での俳句教育の推進に努めた。また、各雑誌・広報紙で江東区の実践が紹介された。 【実績等】 ・学校支援課相談員等派遣実績 小学校34校 564時間 2 俳句部の取組 俳句部(拠点校:深川七中)への活動支援を継続して行った。 【実績等】 ・部活動:11回 3 天皇皇后両陛下下行幸啓 25年5月23日に天皇皇后両陛下が越中島小学校を行幸啓され、俳句授業をご視察された。 【評価】 1 俳句教育の充実 (1)小学校の授業における俳句の実践が広がり、児童の俳句が様々な大会等で評価されるとともに俳句教育のよさが認知されてきた。 (2)天皇皇后両陛下の行幸啓により、江東区の俳句教育がこれまで以上に注目されるようになり、事業の推進に拍車がかかった。 2 事業化の推進 俳句教育を更に推進していくためには、単独での事業化が必要である。	1 授業における取組 26年度より全小中が校で実施される国語スタンダードに俳句は位置付けられたことにより、俳句講師の派遣を中学校にも実施していくため、講師派遣の予算規模も拡大し、俳句教育の推進に努めている。 2 俳句部の取組 活動内容の充実を図るとともに、部員の活躍の場を増やし、積極的にPRを行っていく。 3 俳句大会の開催と俳句集の作成 26年度から区独自の俳句大会を開催するとともに、児童・生徒の作品を俳句集としてまとめていく。 4 総合的な俳句教育の推進 (1)俳句教育推進ニュースを発行し、区内の俳句教育の充実を図る。 (2)俳句教育専門委員会を設置し、俳句教育を推進していく。	学校指導支援室	新17
	23 24 25 26 27					
45	区内全小中学校の学校選択の実施	1 学校選択制度の検証、事業の充実 学校選択制度についてのアンケート結果を踏まえ、制度の検証・改善に向けた検討を実施し、事業の充実を図る。	【取組】 1 学校選択制度の運用 通学区域外の学校を選択する際の参考資料となる「小学校ガイド」「中学校ガイド」の作成・配布、希望校への入学手続き等を行っている。 【実績等】 ・26年度新1年生の選択率 小学校:18.5%(前回:18.5%) 中学校:29.3%(前回:31.2%) 【評価】 1 学校選択制度の運用 学校選択率は、小学校20%、中学校30%で推移している。保護者のニーズに合った学校を選べることで、当初の目的にあった成果があがっている。 2 学校選択制度の検証・改善 学校選択制度の継続。児童・生徒・保護者に分かりやすい学校ガイドを作成。小学校の学校選択の決定時期を早めた。	1 学校選択制度の継続 現在の学校選択を継続実施し、事業の充実を図る。	学務課	53
	23 24 25 26 27					

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
46	学習塾講師の派遣  (学習塾連携事業)	1 学習塾講師の派遣 一定の成果は見られたものの、放課後での実施校が多いため、今後も土曜・放課後学習教室事業の着実な実施をより一層推進し、区としての学習塾連携事業は廃止とし、学校独自に特色ある学校づくり支援事業内で実施していくこととする。	【取組】 1 学習塾講師の派遣 特色ある学校づくり支援事業の1メニューとして、学校の自主性・主体性を重視した、特色ある教育活動として効果的に実施した。 【実績等】 ・小学校:1校、中学校:3校  【評価】 1 学習塾講師の派遣 学習塾の講師のノウハウを学校現場に導入することで、児童・生徒の学力向上や教員の指導力向上など一定の成果は見られたものの、実施を希望する学校も少なく、区として事業化する必要性は低い。今後も実施を考える学校については、学校に担当している特色ある学校づくり支援事業の中で実施していくこととする。	※25年度事業廃止 (25年度より学校の独自の取組への転換を図った。)	学校支援課	55
	23 24 25 26 27					
47	広報活動  (教育委員会広報事業)	1 教育広報紙の発行 25年度に発行する「こうとうの教育」 (1)A4版からタブロイド版に変更し、1面と4面をカラー刷りとする。 (2)区報との併配により全戸配布する。 (3)年2回、1回につき約27万部発行する。	【取組】 1 教育広報紙の発行 児童・生徒、保護者だけでなく、広く区民に周知することにより、教育行政への一層の理解を図ることを目的とする。 教育委員会の各種施策、学校での児童・生徒の様子や、図書館、放課後子ども教室、児童館・児童会館の活動等に関する情報を発信する。 【実績等】 ・「こうとうの教育」発行 年2回、1回につき約27万部  【評価】 1 教育広報紙の発行 (1)児童・生徒、保護者や地域の方々へ多様な教育情報を発信した。 (2)教育に対する相互理解を深める役割を果たした。	1 教育広報紙の発行 引き続き「こうとうの教育」を全戸配布し、更に内容を充実して発行する。	庶務課	56
	23 24 25 26 27					
48	学校評議員会  (幼稚園・小中学校管理運営事業)	1 各評議員会の継続的実施 「こうとう学びスタンダード」の検証など、学校・幼稚園が地域や保護者に対して説明責任を果たし、開かれた学校づくりを推進していくために、継続して実施していく。	【取組】 1 各評議員会の開催、学校経営計画への反映 学校評議員会・幼稚園評議員会を各学校・幼稚園で開催し、よりよい学校・幼稚園運営について様々な立場の方々から意見を伺い、次年度の学校経営計画に反映させた。 【実績等】 ・各評議員会:年3回開催  【評価】 1 各評議員会の開催 学校力を高めるためにも重要な場である。	1 各評議員会の継続的実施 「こうとう学びスタンダード」の検証など、学校・幼稚園が地域や保護者に対して説明責任を果たし、開かれた学校づくりを推進していくために、継続して実施していく。	指導室	57
	23 24 25 26 27					
49	ホームページ作成  (特色ある学校作り支援事業)	1 研修会の実施及び定期的な内容確認 研修会を実施し、その内容と定期的な更新については毎月確認を行う。	【取組】 1 研修の実施 夏季休業中にホームページ作成の研修を実施した。  2 更新の確認 校園長会等で確実な更新について依頼した。  【評価】 1 更新の確認 更新が頻繁ではない学校や幼稚園も一部あり、定期的な確認が必要である。	1 研修会の実施及び定期的な内容確認 研修会を実施し、その内容と定期的な更新については毎月確認を行う。	指導室	58
	23 24 25 26 27					

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
50	地域に開かれた学校づくりを目指し、全小中学校の学校公開を行う  (学校公開安全管理事業)	1 学校公開のより一層の推進 (1)保護者・地域の方々に、日頃の教育内容を広く知っていただくため、今後も学校選択制度の日程にあわせて学校公開の時期を設定するなど工夫を図る。 (2)学校公開時には学校公開安全管理従事者の派遣を継続し、児童・生徒及び園児の安全管理に努めるとともに、来校者にも安心して参観いただけるよう取り組む。	【取組】 1 開かれた学校づくりの推進 (1)開かれた学校づくり、特色ある学校づくりをより一層推進するとともに、学校選択情報の提供に努めている。 (2)学校公開の実施期間中には安全管理員を配置し、児童・生徒及び園児の安全を確保しつつ、学校教育への理解・関心を高めていただくよう広く公開を行っている。 【実績等】 ・来校人数 小学校:126,523人(前年比0.3%増) 中学校:22,983人(前年比2.4%増) 【評価】 1 開かれた学校づくりの推進 小中学校への来校人数は、前年比増(0.6%)であり、学校への関心が高まっている。	1 全小中学校の学校公開の継続実施 全小中学校の学校公開を継続実施するとともに、学校公開時に学校公開安全管理従事者の派遣を行い、今後も児童・生徒及び園児の安全管理に努める。	学務課	59
	23 24 25 26 27					
51	学校評価基準の作成  (小中学校管理運営事業)	1 学校評価の取組推進 経営計画及び学校評価の内容を基に、学校評価をより取り組みやすいものにしていく。	【取組】 1 学校評価の改善・検証 様式を変更し、長期・中期・短期的な目標の設定と目標の数値化、成果の検証に努めた。 【評価】 1 学校評価の改善・検証 1年間の成果と課題、次年度の学校経営計画の立案に向けての資料として有効であった。	1 学校評価の取組推進 経営計画及び学校評価の内容を基に、学校評価をより取り組みやすいものにしていく。	指導室	60
	23 24 25 26 27					
52	学校公開講座  (学校公開講座事業)	※23年度事業終了	【取組】※23年度事業終了までの取組 1 東日本大震災による実施見合わせ 23年度は、3月11日に発生した東日本大震災の影響による電力使用の制限により実施を見合わせた。 【評価】※23年度事業終了時の評価 1 事業の主旨達成 開かれた学校づくりへの取組が様々な形で行われるようになり、本事業の主旨は一応の達成を得、かつ、形骸化が認められるため、23年度をもって終了とした。	※23年度事業終了	学校支援課	61
	23 24 25 26 27					
53	学校開放  (学校開放事業)	1 土曜江東きっずクラブとの連携検討 引き続き、児童館で実施している土曜江東きっずクラブとの連携などを検討する。	【取組】 1 学校開放の実施 小学校・幼稚園の校庭及び施設を遊び場として開放。 【実績等】 ・小学校:39校、幼稚園:4園 【評価】 1 学校開放の実施 身近で安全な遊び場ではあるが、学校等の状況により開放日の拡大が困難な学校もある。	1 土曜江東きっずクラブとの連携検討 引き続き、児童館で実施している土曜江東きっずクラブとの連携などを検討する。	放課後支援課	62
	23 24 25 26 27					
54	幼児教育インターンシップ  (教育相談事業)	※23年度事業終了	【取組】※23年度事業終了までの取組 1 事業実施の検討 実施に向けては21年度に検討を行ったものの、実施に至っていない。 【評価】※23年度事業終了時の評価 1 事業実施の検討 別事業への継続も含め、検討していく。	※23年度に事業は終了したが、大学の要請等があれば実施に向け検討していく。	学校学務支援課	新18
	23 24 25 26 27					
55	児童虐待等について子育て支援担当部署との連携  (教育相談事業)	1 関係各課との連携強化 年3回の連絡会を通じて、関係各課との連携を強化していく。	【取組】 1 関係機関との連携による安全確保 要保護児童対策協議会実務者会議を通じて、関係諸機関との情報共有に努めた。また、日々の事例についても、学校・担当部署・児童相談所・警察と調整し、こどもの安全確保を図っている。 【評価】 1 関係機関との連携による安全確保 虐待のみならず、こどもに関する情報について、相互の連絡・報告・相談体制が確立されつつある。	1 関係各課との連携強化 年3回の連絡会を通じて、関係各課との連携を強化していく。	指導室	63
	23 24 25 26 27					

柱のⅣ 教育を支える健全で安全な社会環境づくり

重点施策 1 1 こどもが安全で健やかに過ごすことができる場の確保

重点施策 1 2 地域・家庭における教育力の向上と就学支援

重点施策 1 3 図書館機能の充実

重点施策 1 4 就学前教育の充実

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo.
56	放課後遊びマップ作成事業	※25年度事業終了 1 事業終了 HP公開に併せて広く区民に周知し、こどもが安全で健やかに過ごすことができる場の確保に努める。	【取組】※25年度事業終了までの取組 1 放課後遊びマップの作成・周知 放課後支援課内に『放課後遊びマップ作成プロジェクトチーム』を設置し、マップを完成させた。 【実績等】 ・幼稚園、小中学校、児童館、学童クラブ、きッズクラブ、図書館等区内350箇所に掲示をし、併せて区HPにおいてマップを公開し 【評価】 1 放課後遊びマップの作成・周知 児童館、公園、各種学習施設等、放課後に遊ぶことのできる場所の情報や、派出所・警察署を記載し、区の情報地図上で一度に見ることができるようになった。	※25年度事業終了	放課後支援課	新19
		23 24 25 26 27				
57	学校連絡網の整備	1 一斉連絡システムの導入 26年4月にシステム改修を行い、学年繰上げによる、在校(園)生の保護者・教職員の、登録情報の再登録は、必要がなくなった。	【取組】 1 一斉連絡システムの導入 24年1月に区立小学校、7月に区立中学校・幼稚園、11月に放課後支援事業にメール・FAXによる一斉連絡システムを導入した。 【実績等】(26年3月末現在) ・登録利用者数:保護者 29,323登録 教職員等1,387登録 ・配信回数:小 820回/中191回/幼 140回 放188回 ・配信内容:学級閉鎖、学校行事中止に関する情報等 【評価】 1 一斉連絡システムの導入 迅速に連絡できる手段として、小学校・学童クラブ・きッズクラブの保護者の方や教職員にも好評である。	1 一斉連絡システムの導入 システム導入時の事業者選定委員会において、導入後3年を目途に見直しを行うこととされた。 見直しの年度にあたる26年度に、事業実施3年間の成果・評価を調査し、継続等今後の方向性を検討していく。	庶務課	新20
		(学校安全対策事業)				
		23 24 25 26 27				
58	学童クラブの実施	1 きッズクラブへの移行・開設 学童クラブ需要に対して、きッズクラブの全校開設を進めるとともに、学童クラブの適正配置を実施する。	【取組】 1 きッズクラブへの移行・開設 (1)深川学童クラブがきッズクラブ深川、平久学童クラブがきッズクラブ平久、香取学童クラブがきッズクラブ香取、東砂第三学童クラブがきッズクラブ東砂に移行した。 (2)新たにきッズクラブを開設し、学童クラブ需要の収容対策等を行った。 【実績等】 ・きッズクラブ新規開設:1校 2 学童クラブの運営 東砂第二学童クラブ・北砂七丁目学童クラブについては、入会申請者の減少により休室とした。また21年度より休室していた大島五丁目学童クラブについては入会申請がなかったため、廃止とした。(23年度末) 【実績等】 ・計34箇所運営 【評価】 1 きッズクラブへの移行・開設 学童クラブ需要の収容対策に努めた。	1 きッズクラブへの移行・開設 地域状況の変化や「江東きッズクラブ」の開設等に伴い、登録児童数が減少している学童クラブについては一定の基準を定め、休室や廃止を含めた対応を検討していく。	放課後支援課	65
		(学童クラブ管理運営事業)				
		23 24 25 26 27				

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
59	放課後子ども教室の実施  (放課後子ども教室事業)	1 きっずクラブへの移行 全小学校へのきっずクラブの展開に伴い、げんきっずは順次、きっずクラブに移行していく。	【取組】 1 げんきっず(放課後子ども教室)の実施 放課後や週末等に小学校を活用し、登録のある当該校の児童を対象に、遊びやスポーツ、文化活動等を実施した。 【実績等】 ・8校でげんきっず(放課後子ども教室)を実施  2 きっずクラブへの移行 24年度は二大小がきっずクラブに移行した。  【評価】 1 げんきっず(放課後子ども教室)の実施 実施校では参加児童・保護者からの評価は高い。	1 きっずクラブへの移行 全小学校へのきっずクラブの展開に伴い、げんきっずは順次、きっずクラブに移行していく。	放課後支援課	66
	23 24 25 26 27					
60	ウィークエンドスクールの実施  (ウィークエンドスクール事業)	1 学校支援地域本部への展開 当事業を将来的に学校支援地域本部の展開にあわせて位置づけることを検討する。	【取組】 1 ウィークエンドスクールの実施 小学校を会場として、地域住民が主体となり、自然体験・社会体験・遊び等の講座を週末に開催。 【実績等】 ・12校で実施  【取組】 1 ウィークエンドスクールの実施 参加児童からの評価は高いが、運営する地域関係者からは事務作業等が煩雑であるとの意見がある。	1 学校支援地域本部への展開 当事業を将来的に学校支援地域本部の展開にあわせて位置づけることを検討する。	放課後支援課	67
	23 24 25 26 27					
61	江東こどもまつりの実施  (こどもまつり事業)	1 事業の充実 今後とも、関係団体及び地域の協力を得て、更なる事業内容の充実を図る。	【取組】 1 江東こどもまつりの実施 25年5月19日(日)に、都立猿江恩賜公園、テアラこうとう、毛利小学校を会場として「第25回江東こどもまつり」を開催した。スポーツ祭東京2013、2020オリンピック・パラリンピック招致PRイベントを実施した。 【実績等】 ・参加者数:約122,000人  【評価】 1 江東こどもまつりの実施 無料巡回バスの臨海部コースを増設し、臨海部に居住する区民の会場までの交通の利便性を図った。	1 事業の充実 地域団体や、関係団体との連携強化、居住者の増加している臨海部の無料巡回バスルートの再検討など、更なる事業内容の充実を図っていく。	放課後支援課	68
	23 24 25 26 27					
62	PTA研修事業  (PTA研修事業)	1 各種研修会の実施 学校ごと、学校同士のPTA活動の一層の充実と活性化を図るため、支援を継続して実施していく。	【取組】 1 各種研修会の実施 区立小・中学校PTA連合会と共催し、基礎研修会・広報紙研修会・活動研修会を実施している。 【実績等】 ・各研修会参加者数:627名  【評価】 1 各種研修会の実施 学校規模や地域事情によりPTA活動は多様だが、情報共有することで各校の活動の活性化につながっている。	1 各種研修会の実施 小、中学校PTA連合会、幼稚園PTA連合会と協働し、研修会を通じた保護者の学びと交流を促進する。  2 小中学校PTA連合会の運営支援 各種スポーツ大会等事業を支援し、PTAの活性化を図る。	庶務課	69
	23 24 25 26 27					
63	訪問型家庭教育支援事業  (家庭教育学級事業)	1 家庭教育支援の継続 就学前の保護者への家庭教育支援のため、今後も継続して実施する。	【取組】 1 家庭教育支援を目指した食育講座の実施 25年度は、新入学児童保護者を対象に、食育をテーマとして「朝ごはん講座」を開催。 【実績等】 ・参加者数:15名(小学校1校)  【評価】 1 家庭教育支援を目指した食育講座の実施 基礎的な生活習慣の形成につながる食育をテーマに講座を開催し、家庭教育支援の役割を果たすことができた。	1 家庭教育支援の継続 中学校での開催に向け、テーマ、内容、周知方法について、PTAと協議して実施する。	庶務課	新21
	23 24 25 26 27					

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
64	家庭教育の支援、PTAの自主企画による家庭教育学級の実施  (家庭教育学級事業)	1 家庭教育学級の支援 PTA等に広く周知されてきているので、今後は講座内容の向上にも取り組んでいく。	【取組】 1 地区家庭教育学級の実施 こどもの成長についての基礎的な理解や親の役割などについて学ぶ機会を提供する地区家庭教育学級を実施。 【実績等】 ・参加者数:1,358名 区立幼稚園7園、小学校2校 私立幼稚園1園、保育園4園、 社会教育関係登録団体1団体 計15か所 【評価】 1 地区家庭教育学級の実施 開催希望園等が増加し、講座内容で精査されることによって、質の向上を図ることができた。	1 家庭教育学級の支援 家庭教育学級の講座内容の充実を図るため、情報の提供等を継続して実施していく。	庶務課	70
	23 24 25 26 27					
65	経済的理由で就学困難な児童・生徒の保護者に援助  (就学援助)	1 就学困難な児童・生徒への就学援助の継続 経済的理由で就学困難な児童・生徒の就学を確保するため、今後も継続して実施する。	【取組】 1 就学困難な児童・生徒への就学援助 経済的理由で就学困難な児童・生徒の保護者に対し、通学に伴い生じる学用品、通学用品費、給食費等を支給し、就学の援助を行っている。 【実績等】 ・就学援助認定者 小学校 5,160人(認定率24.3%) 中学校 3,015人(認定率40.0%) 【評価】 1 就学困難な児童・生徒への就学援助 経済的理由で就学困難な児童・生徒に対し、継続実施することにより、就学の確保に努めている。	1 就学困難な児童・生徒への就学援助の継続 経済的理由で就学困難な児童・生徒の就学を確保するため、今後も継続して実施する。	学務課	71
	23 24 25 26 27					
66	保護者に対する補助  (私立幼稚園等園児の保護者に対する補助金)	1 私立幼稚園等園児の保護者に対する経済的負担軽減の継続 私立幼稚園等に就園する幼児の保護者の経済的負担を軽減するため、今後も継続して実施する。	【取組】 1 私立幼稚園等園児の保護者に対する経済的負担軽減 私立幼稚園等に就園する幼児の保護者の経済的負担を軽減するため、世帯の所得に応じて入園料・保育料に対して補助を行った。 【評価】 1 私立幼稚園等園児の保護者に対する経済的負担軽減 入園料・保育料の補助を行うことにより保護者の経済的負担を軽減する目的を達成した。	1 私立幼稚園等園児の保護者に対する経済的負担軽減の継続 私立幼稚園等に就園する幼児の保護者の経済的負担を軽減するため、今後も継続して実施する。	学務課	72
	23 24 25 26 27					
67	小学生によるこどもとしよかん運営事業  (こども読書活動推進事業)	1 他の活動との交流 学校司書の取組が定着してきたので、更に連携して児童の利用を促進し、活発な交流を生み出していく。 2 事業の情報発信 児童や授業での利用の成果を掲示する等、モデル事業としての情報発信が課題である。	【取組】 1 事業開始に向けた取組 年度初めに、各学校に配置された司書の研修会に同席した。 2 他の活動との交流 (1)学校図書館との仕切り扉を開く「赤い扉開放」事業を実施。昼休み開放時にはPTAが、授業時間の開放時には学校司書が立ち会う等、児童の安全利用を見守ってくれた。 (2)6月には、3年生の調べ学習授業の受け入れを行った。 【実績等】 ・「赤い扉開放」事業:64回実施 延べ1,767人参加 【評価】 1 事業開始に向けた取組 間仕切り扉を開放しての図書館活用が習慣化してきている。 2 他の活動との交流 (1)PTAや学校司書が児童の安全利用に協力してくれたり、調べ学習授業に活用されるなど徐々に関係を深めることができた。 (2)児童が貸出業務や書架整頓に従事するスタッフと触れ合うことで図書館の機能に興味を持つとともに、一般来館者である赤ちゃん連れの親子や高齢者等幅広い年齢層の利用者と本の利用を仲立ちとして暖かな交流も生まれている。	1 他の活動との交流 学校司書の取組が定着してきたので、更に連携して児童の利用を促進し、活発な交流を生み出していく。 2 事業の情報発信 児童や授業での利用の成果を掲示する等、モデル事業としての情報発信が課題である。	江東図書館	新23
	23 24 25 26 27					

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
68	学校図書委員交流事業  (こども読書活動推進事業)	1 交流事業の推進 学校行事との調整等の課題から、年度当初に正副校図書館長会等で年間予定をアナウンスする他、司書教諭や学校司書との連絡調整を密に取り組んでいく。	【取組】 1 学校との交流 学校との交流事業として、秋の読書週間企画で、「おすすめする本」の募集を行った。 【実績等】 ・参加校:計28校 小学校24校 (児童からのおすすめ本293冊) 中学校4校 (生徒からのおすすめ本53冊)  2 学校図書委員との交流 学校図書委員交流として、中学校1校の図書委員が最寄の図書館を見学した。 【実績等】 ・亀戸中学校:亀戸図書館 【評価】 1 学校との交流 学校交流では、参加校数は、昨年並みであった。学校行事との兼ね合いで変動がある。  2 学校図書委員との交流 交流事業では、昨年度に続き中学校の図書委員の見学があった。	1 交流事業の推進 学校行事との調整等の課題から、年度当初に正副校図書館長会等で年間予定をアナウンスする他、司書教諭や学校司書との連絡調整に取り組んでいく。	江東図書館	新24
	23 24 25 26 27					
69	区立図書館と学校図書館のネットワーク事業  (こども読書活動推進事業)	1 区立図書館と学校図書館とのネットワーク整備に向けた準備 学校図書館のシステム化を待ちつつ、連携検索システム等の検討を進める。	【取組】 1 区立図書館と学校図書館とのネットワーク整備に向けた準備 システムリプレイスに向け新システム構築委託業者選定において、システム要件の一つとした。 【評価】 1 区立図書館と学校図書館とのネットワーク整備に向けた準備 新システム選定において、将来、学校図書館との連携可能な仕様が搭載された最新型図書館パッケージシステムを導入した。	1 区立図書館と学校図書館とのネットワーク整備に向けた準備 学校図書館のシステム化を待ちつつ、連携検索システム等の検討を進める。	江東図書館	新25
	23 24 25 26 27					
70	こども読書コンクール  (こども読書活動推進事業)	1 関連部署との調整 学校や関連部署等の調整の検討をすすめる。	【取組】 1 事業化に向けた検討 24年度、取り組み方について検討を行った。以降検討を継続中。  【評価】 1 事業化に向けた検討 実施の検討に合わせて関係部署と調整していく。	1 関連部署との調整 学校や関連部署等の調整の検討を進める。	江東図書館	新26
	23 24 25 26 27					

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
71	<p>図書館の改修・改築による図書館サービスの充実</p> <p>(図書館改修・改築事業)</p> <p>23 24 25 26 27</p>	<p>1 江東図書館のリニューアルオープン・サービス拡充 江東図書館のリニューアルオープンを完遂する。こども室とティーンズ(中学校)コーナーのサービス拡充に取り組む。</p> <p>2 砂町図書館休館等の調整・リニューアルオープン準備 休館・工事着工に伴う調整とリニューアルオープンの準備を行う。</p> <p>3 新豊洲図書館オープン準備・事業計画の検討 オープンに向け準備を進める。特に重点課題である若い子育て世代向けの事業計画の検討を進める。</p>	<p>【取組】</p> <p>1 江東図書館のリニューアル 改修工事が完了した。こども室の機能向上、中高生向けヤングアダルトコーナーの1階フロアへの拡充移設、利用のセルフ機能等を追加した。</p> <p>2 砂町図書館休館等の調整・リニューアルオープン準備 休館・工事着工に伴う調整とリニューアルオープンの準備を行った。</p> <p>3 新豊洲図書館オープン準備・事業計画の検討 オープンに向け準備を進めた。特に重点課題である若い子育て世代向けの事業計画の検討を進めた。</p> <p>【評価】</p> <p>1 江東図書館のリニューアル 江東図書館リニューアルに伴い、こども室の機能向上等サービスの拡充が進んだ。</p> <p>2 砂町図書館休館等の調整・リニューアルオープン準備 休館・工事着工に伴う調整とリニューアルオープンの準備を着実に進めている。</p> <p>3 新豊洲図書館オープン準備・事業計画の検討 オープンに向け準備を着実に進めている。特に重点課題である若い子育て世代向けの事業計画の検討を進めている。</p>	<p>1 砂町図書館リニューアルオープン準備 リニューアルオープンの準備を行う。</p> <p>2 新豊洲図書館オープン準備・事業計画の検討 オープンに向け準備を進める。特に重点課題である若い子育て世代向けの事業計画の検討を進める。</p>	江東図書館	73
72	<p>オンラインネットワークによる図書館サービスの充実</p> <p>(図書館管理運営事業)</p> <p>23</p>	<p>1 システムに関する課題解決の検討 旧システムでの課題解決・利用環境向上に合わせて、他機関のデータベースとのネットワークの検討が必要である。</p> <p>2 ネットワークサービスの向上 全館にインターネットパソコンを設置する計画である。データベース利用環境の向上にも取り組んでいく。</p>	<p>【取組】</p> <p>1 システムに関する課題解決の検討 新システムの構築に伴い、旧システムでは週1回であった書誌情報の取り込みが、毎日できるようになった。</p> <p>2 ネットワークサービスの向上 枝川図書サービスコーナー以外の全館にインターネットパソコンを設置した。</p> <p>【評価】</p> <p>1 システムに関する課題解決の検討 新システムの構築に伴い、図書の検索等利便性が向上した。</p> <p>2 ネットワークサービスの向上 枝川図書サービスコーナー以外の全館でインターネットパソコンを利用できるようになった。</p>	<p>1 システムに関する課題解決の検討 新システムでの不具合等の課題解決のための検討が必要である。</p> <p>2 ネットワークサービスの向上 データベース利用環境の向上に取り組んでいく。</p>	江東図書館	74
73	<p>障害者や高齢者への資料提供</p> <p>(障害者・高齢者等読書支援事業)</p> <p>23 24 25 26 27</p>	<p>1 録音資料の更なる充実 (1)デジタル録音機器等の環境整備に取り組む。 (2)利用対象拡大に向け、活字資料を利用できないすべての方に利用いただける要綱等を整備する。</p> <p>2 高齢者の利用環境充実 来館できない高齢者の利用環境整備に向けて検討を行う。</p>	<p>【取組】</p> <p>1 録音資料の更なる充実 (1)機器の環境整備によって音訳者の利便性を図る。また、デジタル録音機器を使用して、録音資料を作成できる音訳者を養成するための講座を実施した(4年目)</p> <p>【実績等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音訳者養成講座(デジタル録音講習)</li> <li>基礎・応用各2回 延べ19名</li> </ul> <p>【評価】</p> <p>1 録音資料の更なる充実 (1)デジタル録音のできる音訳者数の増加により、これまでのカセットテープ主体の録音資料作成からデジタル録音資料作成への移行を進めることができた。 (2)要綱整備が必要である。</p> <p>2 高齢者の利用環境充実 引き続き検討していく必要がある。</p>	<p>1 録音資料の更なる充実 (1)デジタル録音機器等の環境整備に引き続き取り組む。併せて、環境維持方法についても検討する。 (2)資料提供には、音訳者の技術向上はかかせないため音訳者養成講座の内容充実を図る。 (3)利用対象拡大を受け、活字資料を利用できないすべての方に資料を届ける適切な方法を検討する。</p> <p>2 高齢者の利用環境充実 来館できない高齢者の利用環境整備に向けて引き続き検討を行う。</p>	江東図書館	75

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
74	歴史的貴重資料の調査・保存・提供  (貴重資料保存管理事業)	1 劣化防止対策の計画的実施 資料の劣化防止(脱酸性化処理)は、継続して取り組んでいく必要があるため、計画事業として取り組んでいく。  2 貴重資料デジタル化・提供事業に関する長期的計画の作成 専門チームを立ち上げて図書館計画修繕等と合わせて利用環境を整備する等、長期的な計画を作成して取り組んでいく。	【取組】 1 劣化防止対策 貴重資料の調査結果に基づき修理製本等の劣化防止対策を継続して行った。  2 デジタル化資料提供方法等の検討 デジタル化した資料の活用や公開事業について検討した。  【評価】 1 劣化防止対策 製本の枠内での劣化防止にとどまっておらず、脱酸性化処理について引き続き検討していく必要がある。  2 貴重資料の保存管理等の検討 (1)24年度に検討チームを立ち上げたが、検討途中となっている。 (2)資料の修理製本の際、あわせてデジタル化を行うなど、提供のための準備を進めたが、保存管理等については、チームで引き続き検討して行きたい。	1 劣化防止対策の計画的実施 資料の劣化防止(脱酸性化処理)は、継続して取り組んでいく必要があるため、計画事業として取り組んでいく。  2 貴重資料デジタル化・提供事業に関する長期的計画の作成 図書館計画修繕等と合わせて利用環境を整備する等、長期的な計画を作成して取り組んでいく。	江東図書館	76
	23 24 25 26 27					
75	学童疎開資料室の運営  (学童疎開資料室運営事業)	1 江東図書館リニューアルに伴う展示の見直し 江東図書館リニューアルオープンにむけた新たな展示室に合わせたディスプレイ等の練り直しが必要となる。  2 各関係者との協力体制の検討 幅広い関係者との協力体制についても検討が必要である。  3 資料保存等に関する専門家との連携 江東区の教育史を物語る貴重な資料だが、経年劣化が進んでいる。保存等に創意工夫が必要だが、文化的な専門知識・技能が不足している。専門家の助言を求めたい。	【取組】 1 江東図書館リニューアルに伴う展示の見直し 江東図書館リニューアルオープンに伴い、新たな展示室に合わせたディスプレイに取り組んだ。  2 各関係者との協力体制の検討 語り部の会の実施等引き続き協力体制を維持していく。  3 資料保存等に関する専門家との連携 専門家との連携について、引き続き検討していく。  【評価】 1 江東図書館リニューアルに伴う展示の見直し 江東図書館リニューアルオープンに伴い、新たな展示室に合わせたディスプレイに取り組み、実現した。	1 各関係者との協力体制の検討 幅広い関係者との協力体制についても検討が必要である。  2 資料保存等に関する専門家との連携 江東区の教育史を物語る貴重な資料だが、経年劣化が進んでいる。保存等に創意工夫が必要だが、文化的な専門知識・技能が不足している。専門家の助言を求めたい。	江東図書館	77
	23 24 25 26 27					
76	ボランティアと連携した読み聞かせ事業の推進  (図書館地域連携事業)	1 他の事業との連携検討 ボランティアセンターでの読み聞かせや朗読ボランティア養成事業との棲み分けや連携協力の検討を進める。  2 読書環境サポーターへのレベルアップ・養成 図書館では、館外の学校や子育て支援施設等に出張して、おはなし会や図書館利用ガイドも行う自立的な読書環境サポーターへのレベルアップ・養成に重点を置いた事業を進める。	【取組】 1 ボランティアの養成 読み聞かせボランティアから「こどもの読書環境サポーター」へのレベルアップに向けた養成講座を行い、職員が伴わずに館外での出張おはなし会を実施する等、自立的な活動が可能な人材育成に取り組んだ。  【実績等】 ・養成講座2回及び説明会・交流会3回実施 ・「読み聞かせ隊」登録者:61名 出張おはなし会派遣実績:198回 延べ383名  【評価】 1 ボランティアの養成 (1)読み聞かせボランティア養成事業について、ボランティアセンターでの「朗読ボランティア養成」事業との連携調整の可能性について検討を行った。 (2)活動環境の整備や活動を支援する仕組みを更に検討していく。	1 他の事業との連携検討 ボランティアセンターでの読み聞かせや朗読ボランティア養成事業との棲み分けや連携協力の検討を進める。  2 読書環境サポーターへのレベルアップ・養成 図書館では、館外の学校や子育て支援施設等に出張して、おはなし会や図書館利用ガイドも行う自立的な読書環境サポーターへのレベルアップ・養成に重点を置いた事業を進める。	江東図書館	79
	23 24 25 26 27					

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
77	乳幼児の親子の読書支援事業  (乳幼児読書支援事業)  23   24   25   26   27	<p>1 ブックリストの充実・周知の工夫 ブックリストは子育てをスタートした若い親たちに活用されやすいように、レイアウトや編集に工夫をしていく。区内の公民の乳幼児親子が集まる施設に網羅的に配布する。</p> <p>2 保健相談所での読み聞かせ事業の拡充 読書環境サポーターの養成事業がスタートしたため、図書館職員が伴わないで出張が可能となった。休館日開催事業等、保健相談所の多様なプログラムに対応していく。</p> <p>3 赤ちゃんおはなし会の拡大 ニーズが高い地域館を中心に拡大していく。</p>	<p>【取組】</p> <p>1 ブックリストの編集・発行 ブックリスト「赤ちゃん小さい子のほんだな」はカラー版、レイアウトにも工夫を加えて編集・発行。図書館や保健相談所、保育園、幼稚園等で配布。 【実績等】 ・配布部数:14,000部 ・配布施設:子育て支援施設等216ヶ所</p> <p>2 保健相談所乳幼児健診読み聞かせ 区内4ヶ所の保健相談所の乳幼児健診時に、読み聞かせボランティアを伴って出張あかちゃんおはなし会を実施した。 【実績等】 ・196回 参加者 9,098人</p> <p>3 館内実施の赤ちゃんおはなし会 館内での定例おはなし会他に、乳幼児親子を対象に「あかちゃんおはなし会」を実施した。 【実績等】 ・217回 参加者 5,292人</p> <p>【評価】</p> <p>1 館内実施の赤ちゃんおはなし会 館内での赤ちゃんおはなし会は盛況である。25年度から新たに東雲図書館で開始。開催回数を増やしてニーズに対応した館もあった。来館参加ができない乳幼児のために、各子育て支援施設等へ出張型のあかちゃんおはなし会にも取り組んでいく必要がある。</p>	<p>1 ブックリストの充実・周知の工夫 ブックリストは子育てをスタートした若い親たちに活用されやすいように、レイアウトや編集に工夫をしていく。区内の公民の乳幼児親子が集まる施設に網羅的に配布する。</p> <p>2 保健相談所での読み聞かせ事業の拡充 読書環境サポーターの養成事業がスタートしたため、図書館職員が伴わないで出張が可能となった。休館日開催事業等、保健相談所の多様なプログラムに対応していく。</p> <p>3 赤ちゃんおはなし会の拡大 ニーズが高い地域館を中心に拡大していく。</p>	江東図書館	80
78	学校図書館との連携及び地域ボランティアの活動支援  (学校図書館連携事業)  23   24   25   26   27	<p>1 地域ボランティアの活用の検討 小学校に学校司書が配置された事により、校内で活動するボランティアの役割も変化してきている。10年近い活動実績の中で高い修理技術も習得している人材の活用について、学校や幼稚園の要望を調査し、PTA活動への技術指導の可能性などを探っていく。</p>	<p>【取組】</p> <p>1 地域ボランティアの活動支援 (1)小学校や幼稚園の蔵書の修理を熱心に取り組む「こどもの本の修理人」(ボランティア)へ技術指導用等の修理道具の貸出用意。 【評価】</p> <p>1 地域ボランティアの活動支援 「こどもの本の修理人」は、文部科学省の社会教育活性化モデル事業の受託で生み出されたグループで、区内の小学校を拠点に自立的に活動を続けてきている。</p>	<p>1 地域ボランティアの活用の検討 小学校に学校司書が配置された事により、校内で活動するボランティアの役割も変化してきている。10年近い活動実績の中で高い修理技術も習得している人材の活用について、学校や幼稚園の要望を調査し、PTA活動への技術指導の可能性などを探っていく。</p>	江東図書館	81
79	児童資料の充実  (図書館読書推進事業)  23   24   25   26   27	<p>1 児童書の更なる充実 新鮮で魅力的な蔵書を備える事で、こどもたちの読書意欲を触発し応えるを基本姿勢とし、計画的に取り組んでいく。</p>	<p>【取組】</p> <p>1 児童書の充実 こども読書活動推進施策の重点課題として、各館で児童書の刷新や補充に取り組んだ。 【実績等】 ・26年3月31日現在の蔵書数に占める児童書の割合:21.3% 【評価】</p> <p>1 児童書の充実 こども読書活動推進施策の重点課題として各館で児童書の刷新や補充に取り組んでいるが、目標値とする蔵書数に占める児童書の割合についての見直し検討が必要である。</p>	<p>1 児童書の更なる充実 目標値とする蔵書数に占める児童書の割合について、見直し検討したうえで新鮮で魅力的な蔵書を備える事で、こどもたちの読書意欲を触発し応えるを基本姿勢とし、計画的に取り組んでいく。</p>	江東図書館	82

No	事業内容(事業名)及び予定	25年度以降の取組予定	25年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	プランNo
80	子育て支援施設・放課後支援施設等の読書環境の充実  (こども読書環境整備事業)  <b>23</b> <b>24</b> <b>25</b> <b>26</b> <b>27</b>	<b>1 団体貸出セット提供システムの効率的な運用</b> 本選びに来館することなくFAXで利用申し込みを可能にした事で、小学校・幼稚園・保育園等の公立施設から民設民営の認証保育所等に利用が拡大しているため、利用施設の増加に伴った貸出セットの整備、また配本・回収の効率的システム作り等に取り組んでいく。	<b>【取組】</b> <b>1 団体貸出セットの活用</b> 区内全域の小学校及び子育て関連施設に対し、24年度に整備した「団体貸出セット」の活用を図った。 <b>【実績等】</b> ・団体貸出セット提供事業 数量:100セット 4,070冊 (調べ学習セット56セット、絵本セット44セット) 提供実績:137回 延べ6,053冊 ・24年度に実施した小学校(司書・図書担当教諭)へのアンケート及び貸出実績を元に、新たに4テーマを追加し、既存セット拡充と合わせて1,004冊補充した。  <b>【評価】</b> <b>1 団体貸出セットの活用</b> セット本の拡充と学校司書や子育て関連施設担当者との連携を深め、利用増を図っていく。	<b>1 団体貸出セット提供システムの効率的な運用</b> 本選びに来館することなくFAXで利用申し込みを可能にした事で、小学校・幼稚園・保育園等の公立施設から民設民営の認証保育所等に利用が拡大しているため、利用施設の増加に伴った貸出セットの整備、また配本・回収の効率的システム作り等に取り組んでいく。	江東図書館	83
81	認定こども園の整備  (認定こども園整備事業)  <b>23</b> <b>24</b> <b>25</b> <b>26</b> <b>27</b>	<b>1 開園に向けた調整</b> 27年4月の開園へ向け、事業者と調整を行い、認可等の準備を進める。	<b>【取組】</b> <b>1 認定こども園の整備</b> 設置・運営事業者の公募を行い、事業者を決定した。  <b>【評価】</b> <b>1 認定こども園の整備</b> 開園へ向けての準備が徐々に整ってきている。	<b>1 開園に向けた調整</b> 27年4月の開園へ向け、事業者と調整を行い、認可等の準備を進める。	学務課	84
82	親子登園・預かり保育  (幼稚園地域幼児教育センター事業)  <b>23</b> <b>24</b> <b>25</b> <b>26</b> <b>27</b>	<b>1 親子登園・預かり保育の継続</b> 未就園児の保護者のニーズや在園児の預かり保育へのニーズが引き続き見込まれることから、今後も継続して実施していく。	<b>【取組】</b> <b>1 親子登園・預かり保育の実施</b> 幼稚園の地域幼児教育センターの役割として、未就園児とその保護者を対象とする親子登園や、在園児を対象と預かり保育を行った。  <b>【評価】</b> <b>1 親子登園・預かり保育の実施</b> 親子登園の参加者数は増えており、事業として認知・定着している。	<b>1 親子登園・預かり保育の継続</b> 未就園児の保護者のニーズや在園児の預かり保育へのニーズが引き続き見込まれることから、今後も継続して実施していく。	学務課	85

## ※ 26年度 点検評価委員会委員からの意見(重点項目事業・主な事務事業)

重点項目事業の評価
<b>【重点項目事業5】習熟度別授業等の推進</b> 習熟度別授業は積極的に行うべきである。少人数であることで目が行き届きやすくなり、児童生徒一人一人にあった授業を行うことができる。また、進みの速いクラスへ行きたいから勉強を頑張るといった動機づくりにもなりうるものである。そして、授業がわからないといった理由で学校に来なくなる児童・生徒を増やさない工夫の1つでもあり、今後も、習熟度別授業が全校で効果的に実施できるよう、取り組んでいく必要がある。
<b>【重点項目事業9】ながなわチャレンジの実施・体力向上推進モデル校の指定、スポーツ教育推進校</b> ながなわチャレンジの実施について、中学校でも「ながチャレ」の導入を検討するとあるが、中学生という発達段階を考えたとき、生徒自身の意欲的・自主的な取組にならなければ、運動習慣の育成に繋がらないことから、同じ取組むのであれば、例えば、東京駅伝に向けた取組として区内で中学生駅伝大会を開催し、中学校で全校で取組む態勢を作る方が効果的ではないか。
<b>【重点項目事業11】幼保小教職員交流事業</b> 保幼小中連携が進む中、幼稚園と保育園間での交流や意見交換の機会が多くなり、相互理解を図ることが可能となってきている。保育園数が増え続ける現状の中で、複数の保育園との交流方法を工夫する必要がある。
主な事務事業の評価
<b>【主な事務事業2】コンピュータの設置及びインターネットへの接続、電子黒板の設置・学校ICT化の推進</b>
<b>【主な事務事業4】校務用パソコンの管理</b> ICTは、待ったなしの最重点プロジェクトであり、適切な予算化が必要である。また、園務の効率化や情報管理のために、幼稚園にも小中学校と同様に、校務用パソコンの配置を検討すべきである。
<b>【主な事務事業5】校内LANの整備</b> 将来活躍することも達を育てるために、吸収の速い小学生のうちから、授業等でコンピュータの活用を進めていくべきである。1人1台コンピュータを使える環境を整備し、コンピュータの使い方を教えるに当たっては、インターネットの利用方法もしっかりと指導することが重要である。
<b>【主な事務事業6】外国人講師の派遣</b> ネイティブの英語に触れることは、こどもにとって大変有意義である。この機会に、言葉だけでなく異文化も学び、理解する機会とすべきである。また、英語でコミュニケーションをとろうとする力を身につけるため、ネイティブの英語をたくさん聴き、慣れ、真似して話すことで、英語を“楽しむ”外国語活動を推進すべきである。その前段階として、グローバル化、外国人観光客へのおもてなしには、江東区の歴史、伝統、文化を学ぶことも重要であり、積極的に取り組む必要がある。
<b>【主な事務事業10】特色ある学校・幼稚園づくりを展開するため、授業・保育内容の充実等の活動を支援</b> 各学校が体験学習や創作活動を行うことは、こどもたちにとって探究心や生きる力を育む機会となるものであり、評価する。幼少期の豊富な体験は、その後の行動や発達にも影響を与えるため、事業の更なる充実を図る必要がある。
<b>【主な事務事業12】こどもに理科への興味・関心を高めるとともに、観察力を育てるための理科教室の開催</b>
<b>【主な事務事業13】幼小中の理科及び施設整備の管理運営、教材研究等の相談</b> ものづくりの基礎となるイノベーション創出を活性化するためにも、小学校からの理数教育の充実を図る必要がある。
<b>【主な事務事業18】幼児の道徳性育成研修道徳授業地区公開講座</b> 道徳性育成研修会は、教員と保護者、地域の保育園からの参加が増え、意見交換を行う良い機会である。会場についての案内等を早めに周知する等の工夫により、参加しやすい環境を作る必要がある。また、参加対象者を拡大したことで、より多様な意見を聞くことができ、保幼小の交流にも繋がっており、今後も、事業を更に発展させるべきである。

**【 主な事務事業 30 】 区立幼稚園等における特別支援教育の推進**

介助員の配置や研修会の実施などを通して、特別支援の必要な幼児への対応が以前よりも細やかにできるようになってきている。支援の必要な幼児が増えている現状から、学級数に応じた支援員の配置人数を検討する必要がある。

**【 主な事務事業 45 】 区内全小中学校の学校選択の実施**

多く児童生徒を集めるため、学校側も高め合うことができる取組である。保護者が学校選択を検討する際に、特色を直接感じてもらう機会を作るべきであり、また、その機会に、「こうとう学びスタンダード」を提示して、江東区の教育について知っていただくことを提案する。

**【 主な事務事業 57 】 学校連絡網の整備**

一斉連絡システムの登録方法が年度ごとでなく、進級時にそのまま使えるようになり、使用しやすくなったと評価する。

#### (4) 「教育推進プラン・江東」策定後の新規事業・レベルアップ事業等

No	年度	事業内容(事業名)及び予定	取組内容	担当	プラン No.
<b>[ 24年度 新規事業・レベルアップ事業 ]</b>					
1	24	学校支援地域本部事業 (学校支援地域本部事業)	<b>【取組】</b> 地域住民が学校の教育活動を支援するための組織に対する助成。  <b>【実績等】</b> 24年度より、新たに2校で実施。	学校支援課	主 20 ・ 43 ・ 60
2	24	確かな学力強化事業 (確かな学力強化事業)	<b>【取組】</b> きめ細かな指導をするための講師等の配置。  学力強化講師： 小学校4年生、中学校1年生の全学級及び中学2・3年生の希望する学級 理科支援員： 小学校5・6年生 少人数学習講師： 小学校1・2年生の1学級あたりの児童数が31人以上となる学校の学級  <b>【実績等】</b> 24年度より、少人数学習講師の配置を小学校1年生から1・2年生に拡大。	学校支援課	重 1 ・ 4 ・ 5
3	24	学校力向上事業 (学校力向上事業)	<b>【取組】</b> 江東区の学習に関する指導目標を作成し、全ての教員と児童生徒の家庭へ周知。  教員養成系の大学と提携し、教授と学生により編成されたチームを学校に派遣し、学校と大学チームによる校内OJTを実施。  <b>【実績等】</b> 24年度 新規事業	指導室	無
4	24	教育相談事業 (教育相談事業)	<b>【取組】</b> 教育相談員及びスクールカウンセラーによる学習、しつけ、いじめ、不登校等の相談。スクールカウンセラーを全小学校に週1回派遣。  <b>【実績等】</b> 24年度より、児童数300人以上の学校への派遣時間を4時間から8時間に拡大。	教育センター	主 33 ・ 38 ・ 39 ・ 55
5	24	放課後子どもプラン事業 (放課後子どもプラン事業)	<b>【取組】</b> 放課後等に小学校を活用し、登録のある当該校の児童を対象とした遊びやスポーツ、文化活動等を実施。 放課後子ども教室と学童クラブを連携・一体的に実施する「江東きっずクラブ」の運営。  <b>【実績等】</b> 実施校数: 直営7校、公設民営9校 24年度は、新たに5校で「江東きっずクラブ」を開設。	放課後支援課	重 27
6	24	児童館管理運営事業 (児童館管理運営事業)	<b>【取組】</b> 児童館の施設管理。  <b>【実績等】</b> 区立児童館: 15館 公設民営児童館: 3館 24年度より、江東きっずクラブの土曜日実施を8館から10館に拡大。	放課後支援課	主 53
7	24	学童クラブ管理運営事業 (学童クラブ管理運営事業)	<b>【取組】</b> 学童クラブの管理運営。  <b>【実績等】</b> 区立学童クラブ: 26クラブ 受入: 1,523人 公設民営学童クラブ: 13クラブ 受入: 684人 24年度は、浅間堅川学童クラブ体育室に冷房設備を設置。	放課後支援課	主 58

8	24	私立学童クラブ補助事業  (私立学童クラブ補助事業)	<b>【取組】</b> 私立学童クラブに対する運営補助。  <b>【実績等】</b> 24年度:4クラブ 登録児童数(1~3年生):127人 24年度より、運営補助の障害児加算を充実。	放課後支援課	無
9	24	豊洲児童館改修事業  (豊洲児童館改修事業)	<b>【取組】</b> 老朽化に伴う施設及び付帯設備の改修。  <b>【実績等】</b> 24年度 新規事業	放課後支援課	無
10	24	南砂児童館耐震補強事業  (南砂児童館耐震補強事業)	<b>【取組】</b> 耐震補強工事及び施設の改修。 21年度 実施設計 24年度 耐震補強工事 26年度 改修工事 総事業費:8,163万4,000円  <b>【実績等】</b> 24年度 新規事業	放課後支援課	無
11	24	大島四丁目学童クラブ改修事業 他1件  (大島四丁目学童クラブ改修事業 他1件)	<b>【取組】</b> 1 大島四丁目学童クラブ改修事業 老朽化に伴う施設及び付帯設備の改修。  2 東砂第三学童クラブ改修事業 老朽化に伴う施設及び付帯設備の改修。  <b>【実績等】</b> 24年度 新規事業	放課後支援課	無
12	24	小学校校務情報通信環境管理事業  (小学校校務情報通信環境管理事業)	<b>【取組】</b> 教育インフラの強化、校務の効率化を目的に整備した校務情報通信環境の管理。 教員用パソコンの管理及び設置、インターネットへの接続等を実施。 24年度は、成績処理機能を追加。	学務課	主4
13	24	学校施設の改築・改修事業	<b>【取組】</b> 1 第二亀戸小学校改築事業 老朽化による校舎、屋内運動場、プール、幼稚園の改築:基本設計 竣工:27年度  2 第二亀戸中学校改築事業 老朽化による校舎の改築工事 竣工:25年度  3 小学校大規模改修事業 老朽化による校舎、屋内運動場、プール、外構改修等 (1)設計3校 扇橋小学校、浅間堅川小学校、第四砂町小学校 (2)工事2校 東砂小学校、平久小学校、平久幼稚園  4 中学校大規模改修事業 老朽化による校舎、屋内運動場、プール、外構改修等 (1)設計2校 大島中学校、第二砂町中学校  5 幼稚園大規模改修事業 老朽化による園舎等の大規模改修 (1)設計1園 第五砂町幼稚園 (2)工事1園 東砂幼稚園	学校施設課	重24
14	24	収容対策に向けた学校の施設整備事業  (豊洲北小学校増築事業 他3件)	<b>【取組】</b> 1 児童数増加による教室不足解消のための仮設校舎の借上げ (1)設計3校 豊洲北小学校、第二辰巳小学校、浅間堅川小学校 (2)工事1校 豊洲小学校	学校施設課 学務課	重25

15	24	中学校校務情報通信環境管理事業  (中学校校務情報通信環境管理事業)	<p><b>【取組】</b> 教育インフラの強化、校務の効率化を目的に整備した校務情報通信環境の管理。教員用パソコンの管理及び設置、インターネットへの接続等を実施。</p> <p><b>【実績等】</b> 24年度は、成績処理機能を追加。</p>	学務課	主4
16	24	幼稚園保育室冷房化事業  (幼稚園保育室冷房化事業)	<p><b>【取組】</b> 夏季期間の保育環境を良好に保つための保育室冷房化工事の設計。</p> <p><b>【実績等】</b> 改築・改修工事予定を除く17園。</p>	学校施設課	無
<b>[ 25年度 新規事業・レベルアップ事業 ]</b>					
17	25	学校安全対策事業  (学校安全対策事業)	<p><b>【取組】</b></p> <p>1 防犯ブザーの無償配布〔16年度導入〕 16年度より登下校時の児童・生徒を犯罪から守るため、区内在住の小学校1年生を対象に防犯ブザーを無償配布している。</p> <p><b>【実績等】</b> 25年度防犯ブザー配布個数:5,042個</p> <p>2 学校安全カルテの作成〔18年度導入〕 18年度より警備保障会社へ区立全小中学校の詳細点検を依頼し、調査結果をカルテにまとめている。各校は調査結果をもとに防犯カメラの位置を定める等、防犯対策に活用している。</p> <p><b>【実績等】</b> 区立全小中学校において作成済。 また、新築・増築・改築時には学校安全カルテを新たに作成する。</p> <p>3 防犯カメラの設置〔18年度導入〕 18年度に学校等への侵入の予防を目的として、区立全小中学校及び幼稚園へ防犯カメラの設置を行った。</p> <p><b>【実績等】</b> 全校(園)において設置済。 設置台数は、1校あたり4台(併設校・園は6台)、幼稚園は3台である。</p> <p>4 電気錠及びカメラ付きインターホンの設置〔19年度導入〕 19年度に犯罪の抑止効果及び学校関係者以外の侵入防止を目的として、区立小中学校及び幼稚園へ電気錠及びカメラ付きインターホンの設置を行った。</p> <p><b>【実績等】</b> 全校(園)において設置済。</p> <p>5 緊急通信放送システム(トランシーバー)の配備〔20年度導入〕 20年度に緊急時における校内の連絡体制の確立を目的として、トランシーバーを配備した。</p> <p><b>【実績等】</b> 全校(園)において全教員及び事務室・主事室分を配備済。</p> <p>6 緊急時一斉連絡システムの導入〔23年度導入〕 24年1月に区立小学校、7月に区立中学校・幼稚園、11月に放課後支援事業にメール・FAXによる一斉連絡システムを導入した。</p> <p><b>【実績等】</b>(26年3月末現在) ・登録利用者数:保護者 29,323登録 教職員等1,387登録 ・配信回数:小820回/中191回/幼140回 放188回 ・配信内容:学級閉鎖、学校行事中止に関する情報等</p> <p>7 通学路の緊急合同点検〔24年度実施〕 24年度、関係機関(道路管理者、交通管理者、区)の協力により緊急合同点検等を実施した。</p> <p><b>【実績等】</b> ・点検結果 学校抽出危険箇所数 206箇所 ・関係機関へ対策実施を求める要望書提出 ・区HPにおいて点検結果を公表</p> <p>8 帰宅困難者用(児童・生徒・園児)備蓄物資の配備〔25年度配備〕 25年度に東京都帰宅困難者対策条例の施行に伴い、災害発生時に、保護者等の引き取りが必要な児童・生徒・園児を一時的に保護し、安全を確保するため、食糧・水等の備蓄物資を整備した。</p> <p><b>【実績等】</b> ・水・アルファ化米・クラッカー・毛布の整備 小中学校:全児童・生徒の3割の3日分 幼稚園:全園児の1食分等</p>	庶務課	主57

18	25	教育委員会広報事業  (教育委員会広報事業)	<p><b>【取組】</b> 1 教育広報紙の発行 児童・生徒、保護者だけでなく、広く区民に周知することにより、教育行政への一層の理解を図ることを目的とする。 教育委員会の各種施策、学校での児童・生徒の様子や、図書館、放課後子ども教室、児童館・児童会館の活動等に関する情報を発信する。</p> <p><b>【実績等】</b> ・「こうとうの教育」発行 年2回。発行部数を24年度の1回当たり3万6千部から、25年度、約27万部へ増刷し、規格についてもA4版8ページをタブロイド版4ページ(1・4面カラー)に変更した。 ・25年度より全戸配布を実施</p>	庶務課	主 47
19	25	研究協力校運営事業  (研究協力校運営事業)	<p><b>【取組】</b> 希望する小中学校及び幼稚園に対して、教育課題研究及び成果発表の支援。</p> <p><b>【実績等】</b> 研究協力校:小中学校17校、幼稚園3園(単年度校10校園を含む) 25年度は、研究指定校以外の全小中学校で公開研究授業を実施。</p>	指導室	重 12 ・ 14
20	25	スクールカウンセラー派遣事業  (スクールカウンセラー派遣事業)	<p><b>【取組】</b> スクールカウンセラーを全小学校に派遣し、いじめ、不登校の相談や教員等への助言。</p> <p><b>【実績等】</b> 25年度 新規事業 派遣回数:週1回 8時間 なお、教育相談事業から組替えのうえ、各校への派遣時間を拡大。</p>	指導室	無
21	25	放課後子どもプラン事業  (放課後子どもプラン事業)	<p><b>【取組】</b> 放課後等に小学校を活用し、登録のある当該校の児童を対象とした遊びやスポーツ、文化活動等を実施。 放課後子ども教室と学童クラブを連携・一体的に実施する「江東きっずクラブ」の運営。</p> <p><b>【実績等】</b> 実施校数:直営8校、公設民営13校 25年度は、新たに5校で「江東きっずクラブ」を開設。</p>	放課後支援課	重 27
22	25	学童クラブ管理運営事業  (学童クラブ管理運営事業)	<p><b>【取組】</b> 学童クラブの管理運営。</p> <p><b>【実績等】</b> 区立学童クラブ:22クラブ 受入:1,374人 公設民営学童クラブ:12クラブ 受入:698人 25年度は、都の帰宅困難者対策条例の施行に伴い、備蓄物資を整備。</p>	放課後支援課	主 58
23	25	東雲児童館改修事業 他 1件  (東雲児童館改修事業 他1件)	<p><b>【取組】</b> 1 東雲児童館改修事業 老朽化に伴う施設及び付帯設備の改修。 22年度 実施設計 25年度 工事 総事業費:1億558万3,000円</p> <p>2 亀戸児童館改修事業 老朽化に伴う施設及び付帯設備の改修。</p> <p><b>【実績等】</b> 25年度 新規事業</p>	放課後支援課	主 24

24	25	学校施設の改築・改修事業  (有明小学校増築事業 他1件)	<p><b>【取組】</b></p> <p>1 第二亀戸小学校改築事業 老朽化による校舎、屋内運動場、プール、幼稚園の改築:実施設計 竣工:27年度</p> <p>2 第二亀戸中学校改築事業 老朽化による校舎の改築工事 竣工:25年度</p> <p>3 小学校大規模改修事業 老朽化による校舎、屋内運動場、プール、外構改修等 (1)設計1校 第七砂町小学校 (2)工事3校 扇橋小学校、浅間堅川小学校、第四砂町小学校</p> <p>4 中学校大規模改修事業 老朽化による校舎、屋内運動場、プール、外構改修等 (1)工事2校 大島中学校、第二砂町中学校</p> <p>5 幼稚園大規模改修事業 老朽化による園舎等の大規模改修 (1)設計1園 みどり幼稚園 (2)工事1園 第五砂町幼稚園</p>	学校施設課	重25
25	25	収容対策に向けた学校の施設整備事業  (豊洲北小学校増築事業 他4件)	<p><b>【取組】</b></p> <p>1 児童数増加による教室不足解消のため、仮設校舎の借上げ (1)設計3校 豊洲北小学校、有明小学校、第一亀戸小学校 (2)工事2校 第二辰巳小学校、浅間堅川小学校</p>	学校庶務課 学校施設課	重25
26	25	(仮称)第二有明小学校整備事業  (仮称)第二有明小学校整備事業)	<p><b>【取組】</b></p> <p>人口急増の有明地区に新たな小学校を整備。 25年度は、地区整備計画・設計、用地確保に向け、東京都及び関連部署と調整を行った。</p> <p>25～27年度 地区整備計画・基本設計・実施設計 28・29年度 工事 30年度 開校</p> <p><b>【実績等】</b></p> <p>25年度 新規事業</p>	学校庶務課 学校施設課	重24
27	25	(仮称)第二有明中学校整備事業  (仮称)第二有明中学校整備事業)	<p><b>【取組】</b></p> <p>人口急増の有明地区に新たな中学校を整備。 25年度は、地区整備計画・設計、用地確保に向け、東京都及び関連部署と調整を行った。</p> <p>25～27年度 地区整備計画・基本設計・実施設計 28・29年度 工事</p> <p><b>【実績等】</b></p> <p>25年度 新規事業</p>	学校庶務課 学校施設課	無
28	25	幼稚園保育室冷房化事業  (幼稚園保育室冷房化事業)	<p><b>【取組】</b></p> <p>夏季期間の保育環境を良好に保つための保育室冷房化工事。(17園)</p> <p>第五砂町幼稚園 25年度改修工事に対応 みどり幼稚園 26年度改修工事に対応 第二亀戸幼稚園 27年度改築工事に対応</p>	学校施設課	無
29	25	学校ICTモデル事業  (小・中学校コンピューター教育推進事業)	<p><b>【取組】</b></p> <p>小・中学校各1校をモデル校として選定し、ICT教育の先進的取組を行う。</p> <p><b>【実績等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒用タブレット端末45台導入(1校あたり)</li> <li>・各教室無線アクセスポイント整備</li> <li>・ICT支援員の巡回支援</li> </ul> <p><b>【今後の展開】</b></p> <p>26年度より実施する。 タブレット端末や電子黒板を利用した協同学習・個別学習を行うことで、授業の質の向上を図り、児童生徒の情報活用能力を育成する。 今後のICT教育、ICT環境のあり方を検討していく。</p>	学指導課	無

30	25	区立幼稚園のサービス向上及び整備・適正配置	<p><b>【取組】</b> 25年度、区立幼稚園のあり方ワーキンググループを発足。 (1)幼稚園の保護者への預かり保育等のニーズ調査を行なった。 (2)ワーキンググループであり方の検討委員会発足の決定をし、準備を行なった。</p> <p><b>【実績等】</b> ワーキンググループ内での検討結果、今後の区立幼稚園のサービス向上及び適正配置等を本格的に検討するための検討委員会を発足させることを決定。</p> <p><b>【今後の展開】</b> 26年度より検討委員会を発足させ、区立幼稚園の今後のサービス向上及び臨海部を含めた幼稚園整備や適正配置等の検討を図る。</p>	学務課	無
〔プラン掲載外事業〕					
31		私立高等学校等入学資金の融資あっせん  (私立高等学校等入学資金融資事業)	<p><b>【取組】</b> 1 私立高等学校等入学資金の融資あっせん 私立高等学校等への入学に際し必要な入学金、施設整備費用等の資金を区内金融機関へ融資あっせんする制度。 利用者はピーク時の昭和59年に166件で、融資額が6,950万円であった。最近10年間は10件台で推移するなど減少傾向である。同様の融資は他の公的制度や低金利な民間金融機関の教育ローンも多数あるため事業本来の必要性が低くなったと考えられる。このため、26年度をもって本制度を廃止する。</p> <p><b>【実績等】</b> ・あっせん件数23件 ・融資件数10件 ・融資額471万円</p>	庶務課	無
32		奨学資金の貸付  (奨学資金貸付事業)	<p><b>【取組】</b> 1 奨学資金の貸付 江東区内に在住する中学校3年生で都内または隣接県内の高等学校または高等専門学校へ進学を希望する生徒に対して奨学資金の貸付けを行う。</p> <p><b>【実績等】</b> ・25年度貸付総額 3,984万円 学資金貸付額(年): 公立 9万6千円 71人 私立33万6千円 88人 入学準備金貸付額: 公立5万円 24人 私立10万円 23人</p>	庶務課	無

## (5) 「教育推進プラン・江東」点検・評価まとめ

「世界に翔く時代」を支える江東区の教育に風が吹いている

委員長 小川哲男（昭和女子大学大学院教授）

学校・園はもとより保護者、地域住民により構成された「開かれた」点検・評価委員会では、教育推進プラン・江東に基づく教育施策の着実な進展が確認できた。これは、教育委員会の確かな計画と力強い推進の結果であり、大いに評価できる。特に、江東区の行政全体が教育を最も重視していることを評価者委員全員が確認できた。

「クーラーが入り、幼児も思いっきり活動ができるようになった。」と幼稚園の喜びの声、「江東区に異動してきたが、講師の配置などこんなに人的に条件を整えている区はない。」との校長の言葉など、授業改善支援チーム事業等の取組の中で、学校を訪問して聞くことができた。これらの声は、江東区が学校・園の教育現場を大切にしていることの表れである。

また、どの学校にも「こうとう学びスタンダード」が各教室に掲示され、教師が子どもと一緒にその実現を図っている姿が見られた。区独自の講師配置は、江東区の行政が、教育を何よりも重視している予算措置の表れであり、一区民としてもこれほど嬉しいことはない。今年は特に、各種の講師を「こうとう学びスタンダード」の実現のため、仕組みを変え組織化したことによる成果も確実に出現している。

江東区は豊かな水と緑の中に、江戸の伝統文化が根付き、豊洲地区の新しさが加わり、今後の発展が大いに期待されている。

2020年には、江東区を中心に東京オリンピック・パラリンピックが開催される。まさに江東区に風が吹いており、江東区が「世界に翔く時代」である。学力向上はもとより、江東区の伝統文化を尊重し、外国の方を温かくおもてなしのできる国際色豊かな子どもへの成長を期待している。

## 【 参考 】

### 教育推進プラン点検・評価委員会設置要綱

平成 24 年 3 月 30 日

23 江教庶第 3033 号

(設置)

第 1 条 教育推進プラン・江東（以下「推進プラン」という。）の計画的な推進に資するため、教育推進プラン点検・評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 推進プランにおける施策の点検及び評価に関すること。
- (2) その他委員長が必要と認める事項

(組織)

第 3 条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって構成する。

2 委員は、次に掲げる教育長が委嘱する者をもって充てる。

- (1) 学識経験者
- (2) 公募により選任された区民
- (3) 区立小学校、中学校及び幼稚園の関係者
- (4) 区立小学校、中学校及び幼稚園に在籍する児童、生徒又は園児の保護者
- (5) その他教育長が必要と認める者

3 委員長は、委員の互選により選出する。

4 副委員長は、委員の中から委員長が定める。

(任期)

第 4 条 委員の任期は、委嘱した日から当該年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

(運営)

第 5 条 委員長は、委員会を招集し、会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、又は

他の方法で意見を聞くことができる。

(専門部会)

第6条 委員長は、必要に応じて、専門部会を置くことができる。

2 専門部会は、委員長から付託された事項について、調査研究する。

3 専門部会の部会員は、委員長が指名する。

4 専門部会の部会長は、部会員が互選により選出する。

5 専門部会の部会長は、必要に応じて専門部会を招集し、会務を総理する。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会事務局庶務課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

教育推進プラン・江東に関する点検評価（平成26年度江東区教育委員会の  
権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書）

平成26年9月

印刷物規格表第1類

印刷番号（26）38号

編集発行

江東区教育委員会事務局庶務課

江東区東陽4-11-28

電話（3647）9111（大代表）